

データ編

I 事業実績

1 教育委員会

(1) 教育委員会開催状況

ア 月別開催状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定例会	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	22
臨時会													0
協議会	2	1	2	2	1	1	2	2	2	2	2	1	20
計	4	3	4	4	3	2	4	4	4	4	4	2	42

イ 事項別付議状況

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
条例の制定・改廃							1						1
規則等の制定・改廃	2	1	1	3							12	4	23
人事案件	4	1		1		1					2	2	11
その他の案件	1	2	1		4	1	2	5			2	2	20
請願・陳情													0
協議	2		3	1	1		1	1		1	2		12
報告	11	9	11	7	6	5	11	2	7	4	9	3	85
計	20	13	16	12	11	7	15	8	7	5	27	11	152

ウ 個別審査事項一覧

年月日・会議名	付 議 事 案	
令和5年4月10日 第6回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩市教育委員会感謝状の贈呈状況について
	教育長報告 3	令和5年第1回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告 4	第二次多摩市教育振興プランに基づく令和4年度の取り組みの実施評価について
	教育長報告 5	「令和5年度多摩市立図書館事業計画」について
	承認第3号	多摩市教育委員会事務局職員の人事を教育長の専決により処理したことについて
	承認第4号	学校給食費改定に伴う令和5年度の多摩市立学校給食センターの給食費等の特例に関する規則の制定を教育長の専決により処理したことについて
協議 1	令和5年度多摩市教育委員会事務点検評価について	
令和5年4月24日 第7回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和4年度下半期多摩市教育委員会後援名義使用承認について
	教育長報告 3	令和4年度下半期多摩市教育委員会関係市政情報の公開請求、個人情報の開示請求の状況について
	教育長報告 4	多摩市営永山複合施設駐車場指定管理者候補者選定に関する委員会等について
	教育長報告 5	令和5年度バーチャル・ラーニング・プラットフォーム事業への参加について
	教育長報告 6	多摩市立学校に係る申立てについて
	第27号議案	多摩市教育委員会が管理する特定個人情報の保護措置の特例に関する規則を廃止する規則の制定について
	第28号議案	多摩第三小学校建替基本構想の策定について
	第29号議案	多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の解嘱及び委嘱について
	第30号議案	令和6年度使用多摩市立小学校教科用図書の採択にかかる多摩市立小学校教科用図書選定協議会委員の任命及び委嘱について
	第31号議案	令和6年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択にかかる小・中学校特別支援学級教科用図書選定協議会委員の任命及び委嘱について
協議 1	令和5年度多摩市教育委員会事務点検評価について	
令和5年5月8日 第8回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩市図書館協議会委員の決定について
	承認第5号	多摩市教育委員会における多摩市会計年度任用職員の任用、勤務条件等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について教育長の臨時代理により決定したことの承認を求めることについて
	第32号議案	令和6年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択にかかる小・中学校特別支援学級教科用図書選定協議会委員の任命及び委嘱の変更について

年月日・会議名	付 議 事 案	
	第33号議案	令和6年度使用多摩市立小学校教科用図書の採択にかかる多摩市立小学校教科用図書選定協議会への諮問について
	第34号議案	令和6年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択にかかる小・中学校特別支援学級教科用図書選定協議会への諮問について
令和5年5月23日 第9回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	多摩第三小学校建替事業 第4回地域懇談会報告について
	教育長報告3	令和5年度 児童・生徒数、学級数について
	教育長報告4	学校給食異物混入（令和4年度分）の状況報告について
	教育長報告5	令和5年度多摩市立小中学校の教育課程について
	教育長報告6	令和5年3月 多摩市立中学校卒業生の進路状況について
	教育長報告7	多摩市立学校に係る申立てについて
令和5年6月5日 第10回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	令和5年第1回多摩市議会臨時会の報告について
	教育長報告3	令和5年5月1日現在 児童・生徒数、学級数推計（通常の学級）について
	教育長報告4	令和4年度 学校給食費の納付状況について
	教育長報告5	令和6年度使用多摩市立小学校教科用図書の採択にかかる児童アンケートの実施について
	教育長報告6	令和6年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択にかかる児童・生徒アンケートの実施について
令和5年6月27日 第11回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	多摩中央公園改修工事に伴う旧富澤家の休館について
	教育長報告3	令和5年度中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）について
	教育長報告4	中学校部活動の地域連携・地域移行に向けた協議会等の設置について
	教育長報告5	多摩市立学校におけるいじめ問題について
	第35号議案	多摩市教育委員会職員の勤務時間、休憩時間等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
	第36号議案	令和5年度第1回多摩市総合教育会議での報告事項に係る資料について
	協議1	令和5年度多摩市教育委員会事務点検評価について
	協議2	多摩市就学援助費補助要綱（平成3年3月30日多摩市告示第128号）の一部改正について
	協議3	多摩市特別支援教育就学奨励費支給要綱（平成18年3月31日多摩市告示第96号）の一部改正について
令和5年7月10日 第12回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	令和5年第2回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告3	多摩市教育委員会教育長職務代理者の指名について

年月日・会議名	付 議 事 案	
	第37号議案	多摩市教育委員会における文化財資料の収集及び管理に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第38号議案	多摩市教育委員会職員の育児及び介護に伴う早出遅出勤務に関する規程の一部を改正する規程の制定について
	第39号議案	多摩市立図書館資料等の複写等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
	第40号議案	多摩市教育委員会事務局職員の人事異動について
令和5年7月24日 第13回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	鶴牧西公園の国登録有形文化財に関する寄附の申し出について
	教育長報告3	多摩市就学援助費補助要綱（平成3年3月30日多摩市告示第128号）の一部改正について
	教育長報告4	多摩市特別支援教育就学奨励費支給要綱（平成18年3月31日多摩市告示第96号）の一部改正について
	協議1	永山公民館・関戸公民館の組織について
令和5年8月7日 第14回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	多摩市立中央図書館開館後の利用状況等について
	教育長報告3	学校におけるICT機器と健康に関するアンケート（令和5年7月度）結果について
	教育長報告4	令和6年度使用多摩市立小学校教科用図書の採択にかかる多摩市立小学校教科用図書選定協議会からの答申について
	教育長報告5	令和6年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択にかかる小・中学校特別支援学級教科用図書選定協議会からの答申について
	第41号議案	永山公民館・関戸公民館の組織について
	協議1	指定管理基準に定める八ヶ岳少年自然の家の指定管理期間5年経過時の検証について
令和5年8月21日 第15回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	第42号議案	令和6年度使用多摩市立小学校教科用図書の採択について
	第43号議案	令和6年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について
	第44号議案	令和6年度使用多摩市立中学校教科用図書の採択について
令和5年9月29日 第16回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	多摩市営永山複合施設駐車場指定管理者候補者の選定について
	教育長報告3	令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果について
	教育長報告4	令和5年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について
	教育長報告5	令和5年度「自己の進路選択のための説明・相談会」の実施について
	第45号議案	多摩市立八ヶ岳少年自然の家の食事料の改定について
	第46号議案	多摩市教育委員会事務局職員の人事異動について

年月日・会議名	付 議 事 案	
令和5年10月10日 第17回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	第六次多摩市総合計画について
	教育長報告 3	令和5年第3回多摩市議会定例会の報告について
	教育長報告 4	令和5年度中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）について
	教育長報告 5	多摩市立学校におけるいじめ問題について
	第47号議案	令和5年度上半期多摩市教育委員会表彰の被表彰者の決定について
	第48号議案	多摩市教育委員会事務局組織等の改正にかかる協議について
令和5年10月23日 第18回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩市教育委員会事務局組織等の改正の協議回答について
	教育長報告 3	令和5年度上半期多摩市教育委員会後援名義使用承認について
	教育長報告 4	令和5年度上半期多摩市教育委員会関係市政情報の公開請求、個人情報の開示請求の状況について
	教育長報告 5	令和4年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算書について
	教育長報告 6	令和5年度多摩市立学校給食センター給食費会計補正予算書について
	第49号議案	多摩市公民館条例の一部を改正する条例の制定について
	協議 1	令和5年度多摩市教育委員会事務局点検評価報告書について
令和5年11月6日 第19回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	第50号議案	令和5年度多摩市教育委員会事務局点検評価報告書について
	第51号議案	鶴牧西公園の国登録有形文化財に関する寄附の受入れについて
	第52号議案	多摩市営永山複合施設駐車場の管理に関する仮協定の締結について
	協議 1	令和5年度第2回多摩市総合教育会議に提出する申出書について
令和5年11月20日 第20回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	第53号議案	令和5年度第2回多摩市総合教育会議に提出する申出書について
	第54号議案	令和5年度第2回多摩市総合教育会議での協議・調整事項等に係る資料について
令和5年12月13日 第21回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	「令和4年度多摩市立図書館事業評価」について
	教育長報告 3	GIGA端末の更新方針について
	教育長報告 4	要配慮個人情報の紛失にかかる個人情報保護委員会への報告及びホームページでの公表について

年月日・会議名	付 議 事 案	
令和5年12月25日 第22回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	多摩市教育委員会感謝状の贈呈状況について
	教育長報告 3	令和5年度 学校給食費の納付状況について
令和6年1月9日 第1回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和5年第4回多摩市議会定例会の報告について
令和6年1月22日 第2回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	食品加工会社による食肉の産地偽装について
	協議 1	第三次多摩市特別支援教育推進計画策定事業の概要・スケジュールについて
令和6年2月5日 第3回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する結果について
	第1号議案	令和7年度使用多摩市立中学校教科用図書採択要綱の制定について
	第2号議案	令和7年度使用多摩市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択要綱の制定について
	協議 1	(仮称) 第二次多摩市読書活動振興計画の策定方針について
令和6年2月19日 第4回定例会	教育長報告 1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告 2	令和6年度当初予算原案の概要について
	教育長報告 3	「遊々の森」の協定面積の変更について
	教育長報告 4	令和3年度学びあい育ちあい推進審議会提言書に基づく事業の評価について
	教育長報告 5	令和6年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書について
	教育長報告 6	学校におけるICT機器と健康に関するアンケート(令和6年1月度)結果について
	教育長報告 7	「未来へ つなぐ 部活動改革 アンケート」集計結果について
	承認第1号	校長及び副校長の任命について教育長の専決により東京都教育委員会に内申したことの承認を求めることについて
	第3号議案	多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の委嘱について
	第4号議案	令和5年度下半期多摩市教育委員会表彰被表彰者の決定について
	第5号議案	多摩市立学校物品管理規則の一部を改正する規則の制定について
	第6号議案	多摩市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
	第7号議案	多摩市教育委員会事務局文書管理規程の一部を改正する規程の制定について
第8号議案	多摩市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について	
第9号議案	多摩市公民館の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について	

年月日・会議名	付 議 事 案	
	第10号議案	多摩市公民館処務規程の一部を改正する規程の制定について
	第11号議案	多摩市立公民館共催事業等実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
	第12号議案	多摩市公民館の印刷室の管理運営に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について
	第13号議案	多摩市立図書館処務規程の一部を改正する規程の制定について
	第14号議案	(仮称) 第二次多摩市読書活動振興計画の策定方針について
	第15号議案	第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会等設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
	協議1	第二次多摩市教育振興プランに基づく令和6年度の取り組みについて
令和6年3月26日 第5回定例会	教育長報告1	教育委員会委員の活動実績について
	教育長報告2	図書館システム機器入替に伴う休館について
	教育長報告3	学校給食における窒息事故の防止対応について
	承認第2号	図書館で発生した事案について教育長の臨時代理により決定したことの承認を求めることについて
	承認第3号	チャレンジクラス「あたごSpace」入退級審査会設置要綱を教育長の臨時代理により決定したことの承認を求めることについて
	承認第4号	多摩市公立学校教職員定期異動、指導主事及び東京都教育委員会の課長級の人事(令和6年4月1日)を教育長の専決により処理したことの承認を求めることについて
	第16号議案	多摩市教育委員会事務局職員の人事異動について
	第17号議案	第二次多摩市教育振興プランに基づく令和6年度の取り組みについて
	第18号議案	多摩市教育委員会が管理する情報システムの管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第19号議案	多摩市公民館の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	第20号議案	第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会等設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

(2) 総合教育会議

年月日・会議名	協議・調整事項
令和5年7月3日 令和5年度第1回多摩市総合教育会議	報告事項のみ
令和5年11月24日 令和5年度第2回多摩市総合教育会議	・多摩市における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱について ・令和6年度教育委員会の重点事項について

(3) 事務点検評価

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その報告書を市議会へ提出し、公表している。

令和5年度は、以下の10事業の評価を行った。

- ・防災教育の推進
- ・地域や学校と連携した事業の展開
- ・学校給食における食品ロスの削減
- ・教育相談機能の充実
- ・読書活動の推進
- ・地域学校協働活動の推進
- ・道徳教育の推進
- ・児童・生徒の健康づくりに関する情報発信
- ・学校における働き方改革の推進
- ・誰もが学べる学習環境の充実

(4) 教育訪問

教育委員が、学校等の教育機関を訪問し、実態を把握することによって教育行政に反映させるとともに、教育機関との連携を一層緊密にするため実施している。

令和5年度は、次のとおり実施した。なお、昨年度までは1日で1中学校区を訪問（午前中は二手に分かれて小学校2校、午後は合流して中学校1校を訪問）していたが、令和5年度からは1中学校区を2日に分けて、午前中に小学校1校、午後には中学校1校を訪問し、別日に小学校もう1校を訪問することに変更した。

回	実施日	訪問場所
1	10月16日 10月23日	南鶴牧小学校、鶴牧中学校 大松台小学校
2	1月15日 1月22日	東寺方小学校、多摩中学校 多摩第一小学校
3	1月29日	聖ヶ丘小学校、聖ヶ丘中学校

※2月5日（連光寺小学校）については、令和5年度に実施予定であったが、学級閉鎖等の影響により延期することとした。

(5) 教育委員会表彰

年 度	元	2	3	4	5
表彰者・団体数 (件)	14	18	17	29	23

令和5年度被表彰者（敬称略）

No.	氏名(団体名)	業 績	表彰式
1	上半期表彰 櫻井 眞理	永年勤続（学校医）	令和5.11.6
2	川井 育子	永年勤続（学校薬剤師）	令和5.11.6
3	神尾 星成 (東愛宕中1年)	第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 11～12歳男子4×50mフリーリレー 第1位 など	令和5.11.6
4	梅村 心美 (北諏訪小6年)	公益財団法人日本書道教育学会主催令和5年書初不二誌上展 五年生 タテ 特選 五年生 一字書 金賞	令和5.11.6

No.	氏名 (団体名)	業 績	表彰式
5	梅村 悠一郎 (北諏訪小3年)	公益財団法人日本書道教育学会主催第72回全日本 学生書道展 秀作賞 令和5年書初不二誌上展 二年生 タテ 特選 など	令和5.11.6
6	西田 貫将 (南鶴牧小3年)	一般財団法人全国珠算連盟主催第8回全国そろばん コンクール決勝大会 読上暗算競技3部 14位	令和5.11.6
7	F C多摩ジュニアユ ース	第38回日本クラブユースサッカー選手権 (U- 15) 大会 優勝	令和5.11.6
8	岡田 奈菜子 (鶴牧中3年)	第62回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会 女子共通棒高跳 第1位	令和5.11.6
9	村田 武市 (和田中1年)	ロボカップジュニア・ジャパンオープン2023名 古屋 NIPPON League On Stage 審査員特別賞 (アイデア賞)	令和5.11.6
10	百井 結香 (和田中1年)	第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏 季水泳競技大会 11~12歳女子100mバタフライ 第3位 11~12歳女子50mバタフライ 第4位 など	令和5.11.6
11	柚木 俊介 (和田中3年)	第63回全国中学校水泳競技大会 男子200mバタフライ 出場	令和5.11.6
12	水町 騎士 (落合中3年)	第63回全国中学校水泳競技大会 男子100m背 泳ぎ 第5位 第62回東京都中学校総合体育大会 男子100m 背泳ぎ 第1位 など	令和5.11.6
13	川口 孝大 (落合中2年)	ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権2023 14歳以下男子シングルス 第2位 14歳以下男子ダブルス 第1位	令和5.11.6
14	野元 惺成 (聖ヶ丘小3年)	第11回全日本極真空手道「型」選手権大会 少年青帯男子 3位	令和5.11.6
15	野元 陽 (聖ヶ丘小2年)	第3回全日本少年少女極真空手道選手権大会 小二男子 (組手) 準優勝	令和5.11.6
16	堀木 汐里 (聖ヶ丘小3年)	2022ブルグミュラーコンクール東京12月ファ イナル 小学1・2年 B部門 金賞	令和5.11.6

No.	氏名 (団体名)	業 績	表彰式
17	下半期表彰 関谷 宗則	永年勤続 (学校医)	令和6.3.26
18	森山 豊	永年勤続 (学校医)	令和6.3.26
19	小宮山 寛奈 (多摩第二小4年)	国際AGG連盟主催2023AGGシンガポールカ ップ チルドレン 10-12歳の部 第1位 国際AGG連盟主催2023AGG東南アジアカ ップ チルドレン 10-12歳の部 第1位	令和6.3.26
20	松木 澄真 (聖ヶ丘中3年)	関東ハンドボール協会主催2023年度全国中学生 クラブチームカップ 関東ブロック予選会 第3位 公益財団法人日本ハンドボール協会主催全国中学生 ハンドボールクラブカップ2023 出場	令和6.3.26
21	石川 智也 (南鶴牧小6年)	一般社団法人東京都テニス協会主催第35回東京都 秋季小学生テニス大会 6年生以下男子 優勝	令和6.3.26
22	小長井 聡介 (南鶴牧小6年)	旺文社主催第67回全国学芸サイエンスコンクール 読書感想文部門 小学生の部 旺文社赤尾好夫記念 賞 (銀賞)	令和6.3.26
23	白田 武流 (北諏訪小6年)	公益財団法人日本ラグビーフットボール協会主催第 20回全国小学生タグラグビー大会東京ブロック決 勝ラウンド 優勝	令和6.3.26

令和5年度上半期教育委員会表彰受賞者のみなさん



令和5年度下半期教育委員会表彰受賞者のみなさん



2 学 校 教 育

(1) 学校情報環境整備事業

本事業は、1「子どもにとってわかりやすい授業の提供」、2「教職員の校務・教務の負担軽減」の2つの目的のため、情報システム及びこれに付随する機器やサポートの提供を行う。

1「子どもにとってわかりやすい授業の提供」については、平成21年度に国の補正予算による補助金を活用し、デジタルテレビ等の大型提示装置等のICT*機器を小・中学校全校に整備したことを皮切りに、平成25～28年度までの4か年で小・中学校の全校へ児童・生徒が利用する教育用タブレット端末の整備を行ってきた。これにより、児童・生徒の情報活用能力の向上を図るとともに、分かりやすい授業の実現に寄与し、児童・生徒の授業への関心も高まっている。

平成30・令和元年度においては、教育用タブレット端末の老朽化に伴い機器の更新を行うとともに、教員用や特別支援学級用など配慮が必要となる児童・生徒に向けての追加整備を行った。また、大型提示装置は多機能な電子黒板へ更新した。

令和2年度においては、文部科学省が掲げる国策事業「GIGAスクール構想」に対応するとともに、コロナ禍で子どもたちの学習保障の必要性が高まる中で、平成29年度に策定した『多摩市学校情報環境整備方針』を改訂し、児童・生徒一人1台の教育用タブレット端末を整備した。また、全普通教室へ大型提示装置（プロジェクター）を整備することで、教育用タブレット端末を中心とするICT機器の活用を促進するための環境を実現した。コロナ禍に伴う臨時休校に対応する際には、インターネット環境のない家庭へモバイルルーター等の貸し出しを行い、ICT機器を生かした家庭学習の支援についても対応を行った。これらの整備に当っては、国庫及び東京都の補助金・交付金を活用した。

教育用タブレット端末等を効果的に活用するための支援として、各学校へ専門知識を有するICT支援員の派遣委託を継続して行った。令和3年度から一人1台の教育用タブレット端末が本格的に稼働しており、令和5年度も引き続き、各学校での活用推進の支援を実施した。（令和5年度の実績は次頁の表「ICT支援員の支援（サポート実績）」のとおり）

今後、平成30・令和元年度、および令和2年度に導入した教育用タブレットについて、東京都が取りまとめる共同調達に参加し、国庫及び東京都の補助金・交付金を活用して更新予定である。

2「教職員の校務・教務の負担軽減」については、同じく平成21年度の補助金を活用することで、校務支援システムを導入し、小・中学校教職員一人1台のパソコンをはじめとした機器等の整備を行った。その後、平成28年度に引き続き、令和4年度にも校務支援システムの更新を行い、校務事務等をシステムで一括管理することにより、校務事務の軽減や効率化を図り、教職員の負担の軽減を進め、教職員が子どもと向き合う時間の創出を図っている。令和4

年度の更新では、校務支援システムで使用するパソコンの無線化、インターネットに直結したシステム構成、静脈認証を利用した二要素認証を導入することで、さらなる校務事務の負担を軽減するための取り組みを行っている。

※ ICT・・・情報通信技術（Information and Communication Technology）。コンピュータを使った情報処理や通信技術の総称

ICT支援員の支援（サポート実績）

年 度	臨時職員による総合サポート対応			業務委託による教職員の授業サポート対応		
	回数	時間数	主な内容	回数	時間数	主な内容
元	301	1,291	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用する授業の準備の補助、操作支援、授業事例の紹介、研修の補助 校務支援システムの操作に関する支援 その他、ICT教育に係る支援（教材作成支援等） 	903	6,323	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した授業等に関する支援 教職員のICTスキルを高めるための支援 ICT機器、校務支援用PC等の不具合時の支援 その他業務支援（研究授業、ホームページ支援等）
2				1,042	7,295	
3				632	4,428	
4				592	4,141	
5				639	4,469	

(注) 業務委託によるICT支援員派遣は平成30年9月から7校、令和元年9月から19校に開始した。

小・中学校における教育用タブレット端末及び電子黒板等（プロジェクター含む）の台数一覧 (令和6年3月末日時点)

学校名	タブレット台数	電子黒板等台数	学校名	タブレット台数	電子黒板等台数
多摩第一小学校	649	26	貝取小学校	257	19
多摩第二小学校	538	27	豊ヶ丘小学校	226	12
多摩第三小学校	413	20	愛和小学校	345	18
連光寺小学校	418	18	多摩中学校	510	24
北諏訪小学校	568	23	東愛宕中学校	243	15
東寺方小学校	633	27	和田中学校	475	19
南鶴牧小学校	640	27	諏訪中学校	421	17
聖ヶ丘小学校	322	18	聖ヶ丘中学校	329	15
西落合小学校	443	21	鶴牧中学校	452	19
大松台小学校	464	23	多摩永山中学校	287	14
諏訪小学校	429	22	落合中学校	394	20
永山小学校	416	23	青陵中学校	341	19
瓜生小学校	221	13	教育センター	8	2
東落合小学校	393	20	総合計	10,835	521

(2) 条件付学校希望制（通常の学級）

多摩市では住所に基づいて就学する学校を指定している（指定校という）が、一定の条件に該当する場合には指定校以外の学校へ就学を希望できる条件付学校希望制を、平成25年度より実施している。

翌年度の新1年生については、10月頃に申請受付を行い、希望者が受入上限人数を超えた学校については、11月中旬に公開抽選を実施する。在校生については、一定の条件に該当した場合（学区が変わる市内転居をしたが、転居前の在籍校に引き続き就学を希望する場合等）に条件付学校希望制の申請を受け付ける。なお、引き続き就学が可能な期間は学年により異なる。

令和6年度新1年生の就学状況

（令和6年4月7日時点）

	新入学 児童・生徒数	内 訳		
		学区内 居住者数	条件付学校希望制で 学区外から入学した人数	区域外就学で 他市から入学した人数
小学校	989人	969人	17人	3人
中学校	929人	892人	37人	0人

(3) 区域外就学

区域外就学は、市外に転出した児童・生徒が引き続き多摩市の学校に就学することができる制度で、市立学校に引き続き就学するときは、教育委員会（学校支援課）にて「区域外就学願」の届出を行う。

令和5年度の区域外就学者数

（令和5年5月1日時点）

	他市区町村からの 区域外就学者数	他市区町村への 区域外就学者数	合計
小学校	4人	12人	16人
中学校	4人	15人	19人

(4) 通学路の安全対策

教育委員会では、学校を通じて児童・生徒が通学する通学路の安全性を確認するとともに、通学途上の安全を確保するため、各種要望に対し現地調査を行い、通学路の警戒標識・通学路標識表示板（電柱巻きつけ標識）の設置等を行っている。

また、平成24年度からは関係部署や多摩中央警察署と一緒に現地を確認する「通学路合同安全点検」を年1回実施している。

平成26年度から東京都通学路防犯設備整備補助金を活用し、小学校の通学路に防犯カメラを順次設置しており、平成30年度で全小学校への防犯カメラの設置が完了した。

なお、通学上、特に注意を必要とする箇所において、児童・生徒の安全指導を行う通学路安全整理業務従事者を委託により配置している。

指 導 員 等	人数
通学路安全整理業務従事者	8人

(5) 学校基本調査

学校教育行政に必要な学校に関する基本事項について文部科学省が行う調査で、毎年5月1日を基準日として、小学校、中学校、高等学校、大学、幼稚園、専門学校を対象に実施される。教育委員会では公立小・中学校に関する調査に回答している。

調査の結果については、国や都の教育上の諸計画を策定するための基礎資料や地方交付税算定、国庫補助金算定のための基礎数値等として利用されている。

(6) 多摩市外国人学校児童・生徒の保護者に対する補助金交付

外国人学校に在籍している在日外国人の児童・生徒の保護者に対し、経済的負担の軽減のために補助金の交付を行っている。

外国人学校児童・生徒保護者補助金交付者数

年度	交付総額	交付単価(月額)	申請者数	交付者数
元	24,000円	1,000円	2人	2人
2	24,000円	1,000円	2人	2人
3	24,000円	1,000円	2人	2人
4	24,000円	1,000円	2人	2人
5	24,000円	1,000円	2人	2人

(7) 小・中学校への転入学及び児童・生徒数・学級数

ア 転入学（転校）の手続き

多摩市への転入により多摩市立小・中学校に転入学する際や、学区域が変わる市内転居に伴って転校する際には、市民課での住民票の転入（転居）届とあわせて児童・生徒転（編）入学届を提出する。その後、教育委員会が発行する「転（編）入学通知書」と前学校が発行する「在学証明書」と「教科用図書給与証明書」を就学する学校に提出する。

なお、市内転居により学区域が変わったが、これまでの在籍校に引き続き就学したい場合には、条件付学校希望制の申請を行う。（項番(2)参照）

イ 多摩市外の学校に転校の手続き

多摩市外に転出し、学校を転校するときは、在学している学校が発行する「在学証明書」と「教科用図書給与証明書」を持って、転出先の教育委員会にて必要な手続きを行う。

ウ 公立小学校・中学校の児童・生徒数及び学級数(通常の学級)

小学校

令和6年5月1日現在

学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
多摩第一小	97	3	94	3	85	3	106	4	99	3	107	3	588	19
多摩第二小	65	2	53	2	65	2	71	3	95	3	75	2	424	14
多摩第三小	69	2	65	2	68	2	71	3	51	2	45	2	369	13
連光寺小	63	2	61	2	51	2	66	2	68	2	68	2	377	12
北諏訪小	87	3	85	3	72	3	91	3	90	3	82	3	507	18
東寺方小	89	3	91	3	102	3	84	3	80	3	87	3	533	18
南鶴牧小	88	3	106	4	87	3	91	3	80	3	69	2	521	18
聖ヶ丘小	37	2	39	2	51	2	54	2	48	2	49	2	278	12
西落合小	46	2	63	2	54	2	77	3	77	3	73	2	390	14
大松台小	60	2	62	2	59	2	64	2	85	3	84	3	414	14
諏訪小	35	1	51	2	71	3	62	2	68	2	68	2	355	12
永山小	59	2	47	2	56	2	54	2	50	2	54	2	320	12
瓜生小	29	1	30	1	27	1	32	1	39	2	30	1	187	7
東落合小	51	2	55	2	46	2	55	2	66	2	51	2	324	12
貝取小	33	1	28	1	33	1	28	1	36	2	28	1	186	7
豊ヶ丘小	30	1	30	1	26	1	35	1	34	1	38	1	193	6
愛和小	51	2	45	2	39	2	57	2	61	2	49	2	302	12
小学校合計	989	34	1,005	36	992	36	1,098	39	1,127	40	1,057	35	6,268	220

中学校

令和6年5月1日現在

学校名	1年		2年		3年		合計	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
多摩中	121	4	131	4	154	4	406	12
東愛宕中	64	2	58	2	65	2	187	6
東愛宕中 (あたごSpace)	4	1	2	1	7	1	13	3
和田中	139	4	124	4	139	4	402	12
諏訪中	132	4	113	3	118	3	363	10
聖ヶ丘中	99	3	88	3	103	3	290	9
鶴牧中	118	4	145	4	141	4	404	12
多摩永山中	74	3	73	2	100	3	247	8
落合中	96	3	125	4	107	3	328	10
青陵中	81	3	82	3	97	3	260	9
中学校合計	928	31	941	30	1,031	30	2,900	91

エ 特別支援学級・特別支援教室の児童・生徒数

(7) 特別支援学級（固定学級、通級指導学級）

小学校

令和6年5月1日現在

学校名	児童・生徒数							学級数				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	言語	難聴	知的	情緒	計
多摩第二小（にじ組）	9	10	8	13	11	10	61	—	—	—	8	8
北諏訪小（きこえ）	(0)	(0)	(1)	(1)	(2)	(0)	(4)	—	(1)	—	—	(1)
（ことば）	(9)	(13)	(15)	(8)	(7)	(3)	(55)	(3)	—	—	—	(3)
東寺方小（こま）	2	5	7	5	5	10	34	—	—	5	—	5
南鶴牧小（ふたば）	6	5	6	10	6	5	38	—	—	—	5	5
諏訪小（なかよし）	1	2	4	3	7	3	20	—	—	—	3	3
永山小（わかくさ）	9	6	9	7	12	5	48	—	—	6	—	6
東落合小（さくら4組）	8	4	5	1	2	4	24	—	—	3	—	3
貝取小（みどり）	3	6	6	8	5	7	35	—	—	—	5	5
小学校計	38 (9)	38 (13)	45 (16)	47 (9)	48 (9)	44 (3)	260 (59)	— (3)	— (1)	14 —	21 —	35 (4)

※カッコ内は通級指導学級

中学校

令和6年5月1日現在

学校名	児童・生徒数							学級数				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	言語	難聴	知的	情緒	計
多摩中（1組）	15	18	19	—	—	—	52	—	—	—	7	7
和田中（5組）	6	10	7	—	—	—	23	—	—	3	—	3
諏訪中（5組）	4	5	6	—	—	—	15	—	—	2	—	2
落合中（5組）	10	5	6	—	—	—	21	—	—	3	—	3
青陵中（5組）	10	11	15	—	—	—	36	—	—	—	5	5
中学校計	45	49	53	—	—	—	147	—	—	8	12	20

(イ) 特別支援教室

小学校

令和6年5月1日現在

学校名		児童数						合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
拠点校	多摩第一小学校	6	9	8	3	4	2	32
巡回校	多摩第二小学校	3	6	7	4	2	4	26
巡回校	東寺方小学校	4	9	9	12	2	7	43
拠点校	聖ヶ丘小学校	0	2	3	3	6	3	17
巡回校	連光寺小学校	3	6	6	3	4	4	26
拠点校	西落合小学校	1	3	9	6	7	5	31
巡回校	東落合小学校	4	2	5	1	4	8	24
拠点校	大松台小学校	5	5	2	3	12	6	33
巡回校	南鶴牧小学校	2	8	8	5	3	5	31
拠点校	諏訪小学校	3	2	7	4	7	2	25
巡回校	北諏訪小学校	4	4	2	3	3	2	18
拠点校	瓜生小学校	0	2	5	3	8	2	20
巡回校	永山小学校	6	0	4	6	4	3	23
拠点校	豊ヶ丘小学校	2	5	1	7	4	6	25
巡回校	貝取小学校	2	1	7	3	5	5	23
拠点校	愛和小学校	2	3	7	7	9	0	28
巡回校	多摩第三小学校	2	5	8	7	3	4	29
合計		49	72	98	80	87	68	454

中学校

令和6年5月1日現在

学校名		生徒数			合計
		1年	2年	3年	
巡回校	多摩中学校	1	1	2	4
巡回校	東愛宕中学校	3	3	2	8
巡回校	和田中学校	5	7	4	16
巡回校	諏訪中学校	5	6	0	11
巡回校	聖ヶ丘中学校	4	3	0	7
巡回校	鶴牧中学校	2	4	1	7
拠点校	多摩永山中学校	9	2	3	14
巡回校	落合中学校	2	6	1	9
巡回校	青陵中学校	7	5	4	16
合計		38	37	17	92

(8) 学校保健

ア 各種検査・健診状況

児童・生徒の健康管理及び健康の保持・増進を図るための健康診断として、次の検査を実施している。

(ア) 貧血検査

対象：女子 中学校2～3年生のうち、保護者の希望する者

男子 中学校2～3年生のうち、中学校1（2）年生時に未受診で、保護者の希望する者

（小5・中1については、小児生活習慣病予防健診で実施）

※令和2年度より対象者を変更した。

変更前：中学校2年生・3年生のうち、保護者の希望のある者

変更理由：中学校2年生・3年生の男子の「要受診」判定率が極めて低いため。ただし、男子について、小学校5年生、中学校1年生の小児生活習慣病予防健診時並びに中学校1年生・2年生で未受診の者は希望性とする事で機会を確保する。（多摩市学校保健会理事会にて決定）

方法：前肘部静脈採血により、血色素量、赤血球数、白血球数、ヘマトクリット値、MCV、MCH、MCHCを調べる。

目的：小児期の急激な身体の発育に伴う栄養素（特に鉄分）の不足等による無自覚性の貧血を早期に発見し、児童・生徒が健全な学校生活を送るための健康管理の一助とする。

(イ) 小児生活習慣病予防健診

対象：児童 小学校5年生で保護者が希望した者

小学校6年生で次に該当する者で保護者が希望した者

他地区からの転入者

生徒 中学校1年生で保護者が希望した者

中学校2・3年生で次に該当する者で保護者が希望した者

「中学校2・3年生の次年度経過観察者抽出基準」に該当した者

他地区からの転入者

方法：身長・体重計測値より肥満度の算出、血液検査（総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、貧血）、血圧測定

目的：子どもの生活習慣病のうち、動脈硬化、高血圧、高脂血症、肥満、痩せすぎ等の恐れのある児童・生徒を早期に発見し、健全な学校生活を送るための一助とする。

児童・生徒各種健康診断結果の年度別推移

年度	検査項目	小学校			中学校		
		検査人員 人	陽性者数 人	率 %	検査人員 人	陽性者数 人	率 %
元	貧血検査	980	12	1.22	2,231	91	4.08
	小児生活習慣病予防健診	989	—	—	912	—	—
2	貧血検査	1,009	10	0.99	1,620	87	5.37
	小児生活習慣病予防健診	1,011	—	—	937	—	—
3	貧血検査	881	9	1.02	1,587	88	5.55
	小児生活習慣病予防健診	884	—	—	891	—	—
4	貧血検査	856	15	1.75	1,534	116	7.56
	小児生活習慣病予防健診	862	—	—	914	—	—
5	貧血検査	812	14	1.72	1,382	95	6.87
	小児生活習慣病予防健診	818	—	—	822	—	—

イ 腎臓病検診（糖尿病検診）

若年者の無症候性の尿異常及び腎疾患並びに糖尿病の早期発見と定期的に健康状態を管理し、かつ、異常者を早期治療に導くために、昭和62年度から尿検査の一次、二次検査に三次検査を追加し、腎臓病検診（糖尿病検診）として検査を充実し、学校集団生活における健康管理に努めている。

対象：児童・生徒

方法：一次－蛋白、糖、潜血、pH（試験紙法）

※必要により、蛋白/クレアチニン比（定量）

二次－蛋白、糖、潜血、pH（試験紙法）

蛋白/クレアチニン比（定量）、尿検査（鏡検法）

三次－腎臓病……（ア）専門医による問診・診察、身長・体重・血圧の測定

（イ）検尿 早朝第一尿、随時尿

（ウ）血液検査

ヘモグロビン、ヘマトクリット、赤血球数、白血球数、CRP、総蛋白、A/G比、アルブミン、総コレステロール、尿素窒素（BUN）、クレアチニン、eGFR、補体（C3）

（エ）必要により、腎臓超音波検査

糖尿病……専門医による診察、尿糖検査、血糖、HbA1c、GAD、GPT、トリグリセライド、インスリン、ブドウ糖負荷試験（医師の指示による）

児童・生徒腎臓病検診の年度別検診結果の推移

校種	年度	第一次検査受診者		第二次検査受診者		三次検査対象者 人	有所見者		有所見者の内訳															
		人	陽性者	人	陽性者		腎炎	腎炎の疑い	血尿	微小血尿	蛋白尿	尿路感染症												
			人		%								人	%	人	%	人	%	人	%				
小学校	元	7,001	214	3.06	203	96	1.37	73	46	0.66			3	0.04	16	0.23	19	0.27	6	0.09	2	0.03		
	2	6,972	169	2.42	161	60	0.86	48	34	0.49			1	0.01	17	0.24	11	0.16	4	0.06	1	0.01		
	3	6,908	231	3.34	222	124	1.80	108	53	0.77					20	0.29	26	0.38	3	0.04	3	0.04		
	4	6,668	196	2.94	183	77	1.15	61	49	0.73					4	0.06	13	0.19	20	0.30	5	0.07	6	0.09
	5	6,584	206	3.13	191	98	1.49	78	60	0.91					2	0.03	13	0.20	38	0.58	7	0.11		
中学校	元	2,921	245	8.39	227	78	2.67	61	30	1.03					2	0.07	10	0.34	17	0.58	1	0.03		
	2	3,013	221	7.33	205	61	2.02	49	26	0.86					7	0.23	9	0.30	8	0.27	1	0.03		
	3	3,086	217	7.03	209	73	2.37	58	11	0.36					2	0.06	2	0.06	5	0.16	1	0.03		
	4	3,080	220	7.14	207	70	2.27	59	30	0.97					2	0.06	2	0.06	5	0.16	21	0.68		
	5	3,030	259	8.55	243	81	2.67	60	31	1.02					3	0.10	13	0.43	14	0.46				

児童・生徒糖尿病検診の年度別検診結果の推移

校種	年度	第一次検査対象者		第二次検査対象者		対三次検査 対象者 人	有所見者		有所見者の内訳				
		人	陽性者	人	陽性者		糖尿病	糖尿病の疑い	その他				
			人		%					人	%	人	%
小学校	元	7,001	4	0.06	3	1	0.01	0	0	0.00			
	2	6,972	6	0.09	5	1	0.01	1	0	0.00			
	3	6,908	6	0.09	5	3	0.04	3	0	0.00			
	4	6,668	7	0.10	6	1	0.01	0	0	0.00			
	5	6,584	4	0.06	4	0	0.00	0	0	0.00			
中学校	元	2,921	5	0.17	5	2	0.07	2	0	0.00			
	2	3,013	5	0.17	4	2	0.07	2	1	0.03	1	0.03	
	3	3,086	5	0.16	5	2	0.06	1	0	0.00			
	4	3,080	4	0.13	3	1	0.03	1	0	0.00			
	5	3,030	4	0.13	4	0	0.00	0	0	0.00			

ウ 心臓検診

潜在的な心疾患を有する児童・生徒の発見及び手術済あるいはまだ管理されていない心疾患を有する児童・生徒の発見をし、正確適正な管理指導を行い、児童・生徒が健全な学校生活を送るための一助とする。

対 象：① 小学校1年生及び中学校1年生

② その他の学年の児童・生徒で、次に該当する者

イ 前年度以前の検診の結果で、次年度再検の指示があった者

ロ 学校医の指示のある者

ハ 他地区からの転入者で心臓検診未実施の者

心臓検診の検診結果の年度別推移

校種	年度	一次検査 受診者 人	二次対象者		有所見者		有所見者内訳 (人) (%)							
			人	%	人	%	先天性心疾患		後天性心疾患		その他の心疾患		心電図異常	
							人	%	人	%	人	%	人	%
小学校	元	1,106	19	1.72	23	2.08	13	1.18					10	0.90
	2	1,194	17	1.42	20	1.68	6	0.50	1	0.08	2	0.17	11	0.92
	3	1,155	22	1.90	20	1.73	9	0.78	1	0.09			10	0.87
	4	1,043	33	3.16	18	1.73	10	0.96					8	0.77
	5	1,047	20	1.91	14	1.34	7	0.67					7	0.67
中学校	元	1,048	36	3.44	14	1.34	4	0.38					10	0.95
	2	1,036	32	3.09	15	1.45	9	0.87					6	0.58
	3	1,030	32	3.10	25	2.43	12	1.17	1	0.10			12	1.17
	4	1,070	38	3.55	18	1.68	7	0.65					11	1.03
	5	983	35	3.56	22	2.24	7	0.71					15	1.53

エ 結核健診

(7) 目的

児童・生徒が万が一結核に罹患した場合、健康上だけでなく教育上の重大な影響があるため、平成24年3月に文部科学省が策定した「学校における結核対策マニュアル」に基づき結核健診をおこなう。問診票による調査を実施し、学校医の判断及び保健所や結核の専門医の助言を受けた上で、結核の精密検査の対象者を教育委員会が決定し、検査を実施する。

※平成14年度まで・・・小学校1年生、中学校1年生にツベルクリン反応検査実施

※平成15年度以降・・・児童・生徒全員に対する問診票による調査実施

(イ) 健診の実施

結核健診は、全学年に対して行う。

a 問診票による調査

学校長は、全学年の児童・生徒に対し結核に関する健康調査として「結核健診問診票」を保護者宛に配付し、結核罹患歴、予防内服歴、家族等の結核罹患歴、高まん延国での居住歴、自覚症状（2週間以上の咳や痰）、BCG接種状況歴の調査を行う。

b 学校医による内科健診及び報告

学校医による内科健診に際して、結核健診問診票の記載事項と診察により精密検査の必要があると指示があった場合には、学校長は必ず把握し、教育委員会に報告する。

c 精密検査対象者の決定

教育委員会は、学校長より報告のあった児童・生徒の結核健診問診票及び内科健診の所見に基づき、結核専門医及び保健所の助言を得て、精密検査が必要と認められる対象者を決定する。

d 精密検査の実施

教育委員会は、精密検査対象者に対し胸部エックス線撮影による精密検査を健診機関に委託して実施する。

e 精密検査の事後措置

教育委員会は、精密検査の結果を検査実施機関から受け、要医療、経過観察、異常なしの児童・生徒に分け、学校等に報告する。

要医療、経過観察の児童・生徒に対しては、本人及び保護者に対して、治療や検診、定期的な管理について説明を行い、その後の保健管理、保健指導及び健康相談等が、学校医の指導を受けながら適切に行われるようにする。

結核健診の健診結果の年度別推移

校種	年 度	X 線 直 接 撮 影		
		人	要医療（予防内服含む）	
			人	%
小 学 校	元	21	0	0.00
	2	32（※1）	0	0.00
	3	16	0	0.00
	4	15（※2）	0	0.00
	5	11	0	0.00
中 学 校	元	2	0	0.00
	2	7	0	0.00
	3	6	0	0.00
	4	0	0	0.00
	5	4	0	0.00

※1 問診のみの人数（2人）を含む。

※2 問診のみの人数（1人）を含む。

オ 脊柱側わん検診

側わん症とは、脊柱が横に曲がり、さらにねじれてしまう病気で、進行すると種々の障害を引き起こす原因となる。

さらに、この病気は原因がまだはっきりしない特発性側わん症が非常に多く、また、発症年齢は思春期、すなわち小学校上級生（5・6年生）頃から中学生にかけて最も多く、女子に多いのが特徴である。

当市では、科学的検査方法を導入し、その早期発見に努めている。

対 象：次のうち、保護者の希望のある者

- ① 小学校5年生・中学校1年生
- ② その他の学年の児童・生徒で、学校医、学校長等による抽出者
- ③ その他の学年の児童・生徒で、前年度の検診結果により、次年度再検査と指示されている者

方 法：一次検診－モアレ写真撮影

二次検診－専門医の診察（コブ度数の計測・指導）

直接エックス線撮影（立位全脊柱）

身長・体重計測

医師の指示による検査

脊柱側弯検診結果の年度別推移（小学校）

		性別	一次検診・モアレ撮影				二次検診・専門医の診察／直接X線撮影												
			受診者	要二次検査		病院管理		次年度再検診		受診者	要治療		要観察イ (3~6ヵ月後)		要観察ロ (1年後)		次年度 X-P再検査		
				人	人	%	人	%	人		%	人	%	人	%	人	%	人	%
元年度	5年生	男女計	594	0	0.0	0	0.0	13	2.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			580	12	2.1	0	0.0	43	7.4	10	1.7	1	0.2	4	0.7	0	0.0	5	0.9
			1,174	12	1.0	0	0.0	56	4.8	10	0.9	1	0.1	4	0.3	0	0.0	5	0.4
	他学年	男女計	21	1	4.8	0	0.0	5	23.8	1	4.8	0	0.0	1	4.8	0	0.0	0	0.0
35			7	20.0	0	0.0	15	42.9	5	14.3	0	0.0	3	8.6	0	0.0	1	2.9	
56			8	14.3	0	0.0	20	35.7	6	10.7	0	0.0	4	7.1	0	0.0	1	1.8	
2年度	5年生	男女計	622	1	0.2	0	0.0	19	3.1	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			584	6	1.0	0	0.0	34	5.8	6	1.0	1	0.2	3	0.5	0	0.0	2	0.3
			1,206	7	0.6	0	0.0	53	4.4	7	0.6	1	0.1	3	0.2	0	0.0	2	0.2
	他学年	男女計	19	1	5.3	0	0.0	3	15.8	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.3
49			12	24.5	0	0.0	17	34.7	9	18.4	2	4.1	5	10.2	0	0.0	2	4.1	
68			13	19.1	0	0.0	20	29.4	10	14.7	2	2.9	5	7.4	0	0.0	3	4.4	
3年度	5年生	男女計	540	1	0.2	0	0.0	17	3.2	1	0.2	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			552	5	0.9	0	0.0	44	8.0	5	0.9	1	0.2	1	0.2	0	0.0	3	0.5
			1,092	6	0.6	0	0.0	61	5.6	6	0.6	2	0.2	1	0.1	0	0.0	3	0.3
	他学年	男女計	24	1	4.2	0	0.0	9	37.5	1	4.2	0	0.0	1	4.2	0	0.0	0	0.0
39			9	23.1	0	0.0	13	33.3	9	23.1	1	2.6	2	5.1	0	0.0	5	12.8	
63			10	15.9	0	0.0	22	34.9	10	15.9	1	1.6	3	4.8	0	0.0	5	7.9	
4年度	5年生	男女計	563	0	0.0	0	0.0	14	2.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			525	17	3.2	0	0.0	42	8.0	16	3.0	3	0.6	8	1.5	0	0.0	5	1.0
			1,088	17	1.6	0	0.0	56	5.2	16	1.5	3	0.3	8	0.7	0	0.0	5	0.5
	他学年	男女計	22	0	0.0	0	0.0	4	18.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
44			9	20.5	0	0.0	12	27.3	9	20.5	2	4.5	2	4.5	0	0.0	5	11.4	
66			9	13.6	0	0.0	16	24.2	9	13.6	2	3.0	2	3.0	0	0.0	5	7.6	
5年度	5年生	男女計	554	2	0.4	0	0.0	9	1.6	2	0.4	0	0.0	2	0.4	0	0.0	0	0.0
			485	10	2.1	0	0.0	38	7.8	9	1.9	1	0.2	5	1.0	0	0.0	3	0.6
			1,039	12	1.2	0	0.0	47	4.5	11	1.1	1	0.1	7	0.7	0	0.0	3	0.3
	他学年	男女計	20	0	0.0	0	0.0	5	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
39			14	35.9	0	0.0	11	28.2	13	33.3	2	5.1	4	10.3	0	0.0	4	10.3	
59			14	23.7	0	0.0	16	27.1	13	22.0	2	3.4	4	6.8	0	0.0	4	6.8	

(注) 率(%)は一次受診者数に対してのものである。

《共通》要治療：専門の整形外科医による治療が必要な人。

要観察イ：専門の整形外科医のもとで3~6ヶ月後にもう一度、診察を受けることが必要な人。

要観察ロ：専門の整形外科医のもとで1年後にもう一度、診察を受けることが必要な人。

次年度X-P再検査：次年度の検診時、直接X線撮影を受けることが必要な人。

脊柱側わん検診結果の年度別推移（中学校）

		性別	一次検診・モアレ撮影				二次検診・専門医の診察／直接X線撮影												
			受診者	要二次検査		病院管理		次年度再検診	受診者	要治療	要観察イ (3~6ヵ月後)		要観察ロ (1年後)		次年度 X-P再検査				
				人	人	%	人				%	人	%	人		%	人	%	
元年度	1年生	男女計	495	6	1.2	0	0.0	29	5.9	5	1.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	4	0.8
			476	12	2.5	1	0.2	52	10.9	10	2.1	2	0.4	6	1.3	0	0.0	1	0.2
			971	18	1.9	1	0.1	81	8.3	15	1.5	3	0.3	6	0.6	0	0.0	5	0.5
	他学年	男女計	42	14	33.3	0	0.0	15	35.7	10	23.8	0	0.0	1	2.4	0	0.0	3	7.1
			81	36	44.4	0	0.0	20	24.7	32	39.5	3	3.7	10	12.3	0	0.0	6	7.4
			123	50	40.7	0	0.0	35	28.5	42	34.1	3	2.4	11	8.9	0	0.0	9	7.3
2年度	1年生	男女計	511	1	0.2	1	0.2	33	6.5	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.2
			488	25	5.1	2	0.4	64	13.1	16	3.3	3	0.6	4	0.8	0	0.0	9	1.8
			999	26	2.6	3	0.3	97	9.7	17	1.7	3	0.3	4	0.4	0	0.0	10	1.0
	他学年	男女計	61	20	32.8	0	0.0	15	24.6	13	21.3	0	0.0	2	3.3	4	6.6	5	8.2
			91	33	36.3	0	0.0	28	30.8	22	24.2	0	0.0	7	7.7	5	5.5	4	4.4
			152	53	34.9	0	0.0	43	28.3	35	23.0	0	0.0	9	5.9	9	5.9	9	5.9
3年度	1年生	男女計	496	0	0	0	0.0	36	7.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
			458	22	4.8	1	0.2	50	10.9	15	3.3	0	0.0	8	1.8	0	0.0	6	1.3
			954	22	2.3	1	0.1	86	9.0	15	1.6	0	0.0	8	0.8	0	0.0	6	0.6
	他学年	男女計	60	13	21.7	0	0.0	6	10.0	9	15.0	0	0.0	1	1.7	1	1.7	3	5.0
			107	38	35.5	0	0.0	26	24.3	28	26.2	2	1.9	7	6.5	7	6.5	8	7.5
			167	51	30.5	0	0.0	32	19.2	37	22.2	2	1.2	8	4.8	8	4.8	11	6.6
4年度	1年生	男女計	536	7	1.3	0	0.0	25	4.7	3	0.6	0	0.0	3	0.6	0	0.0	0	0.0
			466	22	4.7	1	0.2	72	15.5	16	3.4	0	0.0	6	1.3	0	0.0	8	1.7
			1,002	29	2.9	1	0.1	97	9.7	19	1.9	0	0.0	9	0.9	0	0.0	8	0.8
	他学年	男女計	61	6	9.8	0	0.0	16	26.2	5	8.2	0	0.0	0	0.0	1	1.6	2	3.3
			83	29	34.9	0	0.0	13	15.7	18	21.7	0	0.0	8	9.6	4	4.8	1	1.2
			144	35	24.3	0	0.0	29	20.1	23	16.0	0	0.0	8	5.6	5	3.5	3	2.1
5年度	1年生	男女計	449	3	0.7	0	0.0	30	6.7	2	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.5
			451	22	4.9	3	0.7	52	11.5	17	3.8	0	0.0	5	1.1	0	0.0	9	2.0
			900	25	2.8	3	0.3	82	9.1	19	2.1	0	0.0	5	0.6	0	0.0	11	1.2
	他学年	男女計	47	17	36.2	0	0.0	5	10.6	11	23.4	0	0.0	0	0.0	2	4.3	3	6.4
			105	24	22.9	0	0.0	33	31.4	18	17.1	3	2.9	7	6.7	1	1.0	1	1.0
			152	41	27.0	0	0.0	38	25.0	29	19.1	3	2.0	7	4.6	3	2.0	4	2.6

(注) 率(%)は一次受診者数に対してのものである。
 《共通》 要治療：専門の整形外科医による治療が必要な人。
 要観察イ：専門の整形外科医のもとで3~6ヵ月後にもう一度、診察を受けることが必要な人。
 要観察ロ：専門の整形外科医のもとで1年後にもう一度、診察を受けることが必要な人。
 次年度X-P再検査：次年度の検診時、直接X線撮影を受けることが必要な人。

カ 就学時健康診断

小学校の就学予定者に対し、あらかじめ健康診断を行うことにより、その栄養状態や健康状態を把握する。この結果に基づき、治療を勧告し、保健上必要な助言や就学に関する指導等を行う。

対象：学校教育法施行令第2条の規定によりあらかじめ作成された学齢簿に記載された就学予定者

キ 学校環境衛生

(ア) 飲料水の検査

小・中学校における飲料水の衛生管理（給水設備の管理、水質検査の実施等）の徹底を図り、飲料水を起因とする赤痢等消化器系感染症の事故防止について万全を期する。

塩化物イオン、有機物（全有機炭素（TOC）の量）、一般細菌、大腸菌、水素イオン濃度、臭気、味、色度、濁度の9項目の定期検査を実施する。必要に応じて臨時検査を実施する。

(イ) プール水の水質検査

中学校におけるプールの水質を保持するため、水質検査を実施する。

プール実施期間に毎月1回、pH値、有機物（過マンガン酸カリウム消費量）、一般細菌、大腸菌、濁度の検査を行い、プール開催期間中1回、総トリハロメタンの検査を実施する。必要に応じて臨時検査を実施する。



多摩中学校 可動式屋根のプール（体育館棟）

(ウ) 教室の環境衛生検査

小・中学校において、教室の環境検査を実施する。快適な教室環境を保持し、学習能率の向上と児童・生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

学校薬剤師により、夏季にホルムアルデヒド・トルエン等、冬季にホルムアルデヒド・CO・CO₂・照度等の検査を全校で実施する。

ク 多摩市学校保健会

多摩市学校保健会は、多摩市立学校児童・生徒及び、教職員の健康保持増進と学校保健活動の充実発展並びに会員の資質向上を目的とする団体である。この活動を支援し、多摩市の学校保健の水準向上を図る。

ケ 学校保健委員会の活動促進

学校保健委員会は、学校保健計画を策定し、学校における健康の問題に対して、学校と家庭・地域が連携して研究協議し、対策を実施するための、校長の諮問機関である。

平成18年度から多摩市立小・中学校全校に設置されており、今後は委員会活動の活性化を促進していく。

学校保健委員会設置状況

小学校 全校（17校） 中学校 全校（9校）

(9) 独立行政法人 日本スポーツ振興センター災害共済給付

独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付は、児童・生徒が学校の管理下（授業中、校外活動、登下校中等）において事故等にあった場合において、医療費の4割が支給される制度であり、また万一障害を残したり、あるいは死亡した場合は、その程度により見舞金が支給される制度である。

掛金及び給付状況

区 分 \ 年 度	元	2	3	4	5
児童・生徒一人当たり掛金	935円	935円	935円	935円	935円
掛 金 総 額	9,107,170円	9,225,040円	9,239,225円	9,049,505円	8,935,915円
契約幼児・児童・生徒総数	9,980人	10,070人	10,079人	9,867人	9,717人
医 療 費 給 付 件 数	832件	621件	672件	710件	736件
給 付 総 額	6,010,151円	6,037,476円	4,883,806円	5,334,058円	5,789,786円
給 付 率	66.0%	65.4%	52.9%	58.9%	64.8%

(10) 就学援助制度

就学援助制度とは、経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対して、教育費の一部を多摩市が援助する制度である。

ア 就学援助費支給対象児童・生徒数及び援助額（給食費援助は除く）

※年度内の認定者等の総数

(7) 就学予定児童

年度	援助対象就学予定児童数	援助額（新入学準備金）
元	74人	3,744,400円
2	84人	4,289,040円
3	61人	3,114,660円
4	69人	3,730,140円
5	74人	4,000,440円

(イ) 小学校

年度	援助対象児童数		申請者数	援助額 (新入学準備金を含む)
	要保護児童数	準要保護児童数		
元	82人	633人	1,103人	24,480,016円
2	61人	586人	1,076人	20,595,927円
3	54人	558人	1,002人	20,307,696円
4	49人	525人	913人	20,389,487円
5	41人	506人	850人	20,109,935円

(ウ) 中学校

年度	援助対象生徒数		申請者数	援助額
	要保護生徒数	準要保護生徒数		
元	55人	357人	697人	18,554,444円
2	56人	380人	732人	11,499,198円
3	56人	347人	686人	13,047,859円
4	48人	331人	619人	17,746,723円
5	38人	307人	549人	16,142,574円

(11) 就学奨励制度

就学奨励制度とは、心身に障がいのある児童・生徒の就学を奨励するため、保護者に対して、教育費の一部を多摩市が補助する制度である。

ア 特別支援教育就学奨励費支給対象児童・生徒数及び援助額

(ア) 小学校

年度	援助対象児童数	援助額
元	102人	1,705,323円
2	123人	2,429,488円
3	112人	2,411,424円
4	125人	2,736,630円
5	146人	3,749,068円

(イ) 中学校

年度	援助対象生徒数	援助額
元	74人	3,908,979円
2	86人	3,791,297円
3	94人	4,809,722円
4	98人	4,735,166円
5	98人	4,805,635円

(12) 学校災害賠償補償保険

多摩市教育委員会では、多摩市立小中学校の児童・生徒に対して、公費により学校賠償補償保険に加入しています。

学校管理下における怪我等により、入院1日、通院6日以上が生じた場合に入院補償保険金・通院補償保険金(お見舞金)が日数に応じて保険会社から支払われるものです。

年 度 区 分	元	2	3	4	5
一人当たりの掛金	194.31円	198.53円	198.53円	198.53円	198.53円
掛 金 総 額	1,963,695円	1,982,122円	2,000,189円	2,000,983円	1,958,895円
契約児童・生徒数	10,106人	9,984人	10,075人	10,079人	9,867人
事故報告件数	31件	31件	19件	27件	29件
保険請求件数	27件	24件	24件	24件	32件
給付総額	1,080,000円	805,000円	860,000円	705,000円	1,305,000円

※「事故報告件数」、「保険請求件数」、「給付総額」については、当該年度中の件数及び金額を集計しています。当該年度以前に発生した事故に関するものも含まれています。

(13) 学校給食

ア 学校給食用物資の購入

学校給食用の食材については、学校給食物資取扱要項により、その規格基準を定め、安全で新鮮な食材料の購入に努めている。この食材の購入は、児童・生徒の保護者から徴収した学校給食費で運用している。

食材料の納入業者は2年毎に業者登録を行い、入札により納入業者を決定し購入をしている。

令和6年5月1日現在 登録業者数	28業者
令和5年度物資購入額	約5億6千661万9千円

イ 学校給食センター運営委員会

多摩市立学校給食センターの運営に関し、重要な事項について教育委員会から諮問を受け、審議及び必要に応じ調査、研究等を行い、学校給食センターの運営を適正かつ円滑に行うため、学校給食センター運営委員会を設置している。

令和5年度に教育委員会から諮問等を受け、答申及び提言等を行ったものは、以下の通りである。

令和5年 7月	今年度の学校給食センター運営委員会について			
令和5年 9月	令和4年度多摩市立学校給食センター給食費会計決算書(案)について			
令和5年11月	新しい学校給食センターに求められる役割や機能について(書面開催)			
令和6年 1月	令和6年度多摩市立学校給食センター給食費会計予算書(案)について			
委 員	13人			
	市立小中学校長代表	2人	市立小中学校給食主任代表	2人
	市立小中学校保護者代表	2人	公募市民	2人
	所轄保健所長が指名した者	1人	関係行政機関の職員	1人
	学識経験者	3人		
任 期	2年			

ウ 学校給食実施状況

(給食対象者は各年度5月1日現在)

年度	センター（調理所）別	給食対象人員 (人)	給食延べ食数（食）
元	南野調理所 (内 学校法人帝京大学小学校)	5,729 (309)	958,554 (48,724)
	永山調理所	5,603	938,015
	合計	11,332	1,896,569
2	南野調理所 (内 学校法人帝京大学小学校)	5,716 (322)	960,357 (38,062)
	永山調理所	5,669	968,132
	合計	11,385	1,928,489
3	南野調理所 (内 学校法人帝京大学小学校)	5,756 (331)	1,039,148 (55,624)
	永山調理所	5,687	1,057,405
	合計	11,443	2,096,553
4	南野調理所 (内 学校法人帝京大学小学校)	5,480 (322)	1,054,006 (59,660)
	永山調理所	5,553	1,075,466
	合計	11,033	2,129,472
5	南野調理所 (内 学校法人帝京大学小学校)	5,338 (320)	1,057,640 (60,862)
	永山調理所	5,520	1,036,971
	合計	10,858	2,094,611



エ 学校給食費の推移

改定年月	小 学 校			中 学 校		
	低学年月額(円)		中学年月額(円)	高学年月額(円)	中学校月額(円)	
平成 31. 4	1 年生	2 年生	4, 240	4, 510	1・2 年生	3 年生
	3, 930	4, 020			4, 650	5, 000

改定年月 ※1	区 分		牛乳あり	牛乳なし	牛乳(飲料)のみ
			月額	月額	月額
令和2. 4 ※2	小学校	1年生	4, 050円 (4, 420円)	3, 040円 (3, 320円)	1, 040円 (1, 130円)
		2年生	4, 140円 (4, 420円)	3, 090円 (3, 320円)	1, 060円 (1, 130円)
		3・4年生	4, 360円 (4, 650円)	3, 330円 (3, 540円)	1, 060円 (1, 130円)
		5・6年生	4, 630円 (4, 920円)	3, 590円 (3, 820円)	1, 060円 (1, 130円)
	中学校	1・2年生	4, 760円 (5, 410円)	3, 810円 (4, 310円)	980円 (1, 130円)
		3年生	5, 110円 (5, 260円)	4, 100円 (4, 190円)	1, 050円 (1, 100円)
令和5. 4 ※3	小学校	1年生	4, 300円	3, 210円	1, 110円
		2年生	4, 390円	3, 280円	1, 130円
		3・4年生	4, 650円	3, 540円	1, 130円
		5・6年生	4, 940円	3, 830円	1, 130円
	中学校	1・2年生	5, 070円	4, 050円	1, 040円
		3年生	5, 450円	4, 360円	1, 120円

※1 令和2年度より、「牛乳あり・なし、牛乳のみ」の3種類に費用体系を細分化した

※2 () 内は、令和2年度の徴収額(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4・5月は学校休業。6月・8月の簡易給食については市費負担。7月分及び9～3月分の8カ月を保護者より徴収した)

※3 値上げ分は市費負担としており、保護者の負担額は令和2年度改定時の学校給食費のまま(据え置き)とした

オ 令和5年度学校・家庭連携事業

学校給食を通して学校、地域の保護者等との交流を深め、児童生徒の食生活の改善を図るとともに、学校給食への理解と協力を得ることに努めた。また、栄養士による学校訪問等を行い、授業参加を通じ、給食時間に食に関する指導を積極的に行うとともに食育の推進をさらに充実させた。

(ア) 試食会

保護者及び市民等を対象として、当日の給食を試食してもらい、多摩市の学校給食の現在の状況や食品の安全衛生及び栄養所要量等について説明を行うなど、学校給食に対する理解とPRに努めた。

小学校	12回	延べ	256人
中学校	0回		0人
その他	2回		50人
計	14回		306人

(イ) 施設見学会

学校、保護者及び市民などを対象として、実際の調理作業を見てもらいながら、給食センターの施設概要、調理工程や衛生管理、食品ロス削減等について説明し、安全かつ衛生的な学校給食のPRに努めた。

小学校	10回	延べ	729人
中学校	1回		18人
その他	0回		0人
計	11回		747人

(ウ) 食育授業・給食指導（クラス訪問）

学校での学級活動や生活科等における食育の授業において、担任教諭、栄養教諭及び学校給食センター栄養士が連携し、食に関する指導を行い、積極的に食育の推進を図る。また、給食指導（クラス訪問）では、給食時間中に献立を題材にした食に関する指導や食品ロス削減に向けて講話を行った。また、配食・喫食状況の確認、児童からの意見を聴取し、献立作成に役立てた。

食育授業（見学）	4回	4校	延べ授業時間6時間
給食指導（クラス訪問）	39回	18校	延べ279クラス

カ 地場農産物供給実績

年 度	元	2	3	4	5
品目数(品目)	18	15	17	16	14

キ 学校給食における地場農産物供給実績

年度 品名	元	2	3	4	5
長 葱	329 kg 19 回/年	625 kg 25 回/年	72 kg 4 回/年	89 kg 6 回/年	35 kg 3 回/年
大 根	2,177 kg 31 回/年	2,034 kg 30 回/年	2,145 kg 31 回/年	1,776 kg 24 回/年	1,336 kg 20 回/年
じゃがいも	665kg 7 回/年	372kg 3 回/年	536kg 8 回/年	371 kg 5 回/年	362 kg 4 回/年
玉ねぎ	2,088kg 26 回/年		1,425kg 16 回/年	2,143 kg 27 回/年	1,950 kg 24 回/年
な す	82kg 7 回/年		30kg 3 回/年	47 kg 4 回/年	50 kg 5 回/年
トマト					
きゅうり	54kg 6 回/年		20kg 2 回/年	10 kg 1 回/年	40 kg 5 回/年
かぼちゃ	343kg 4 回/年	251kg 4 回/年	305kg 4 回/年	139 kg 2 回/年	210 kg 4 回/年
かぼちゃ (コロッケ)	10,645 個 3 回/年	22,780 個 8 回/年	10,820 個 12 回/年		
ブロッコリー	75kg 3 回/年	30kg 1 回/年			
カリフラワー		30kg 1 回/年			
人 参	48kg 1 回/年		66kg 4 回/年	45 kg 2 回/年	67 kg 2 回/年
小松菜	60kg 6 回/年	65kg 7 回/年	179kg 16 回/年	69 kg 7 回/年	30 kg 4 回/年
ほうれん草	23kg 4 回/年	75kg 10 回/年	40kg 5 回/年	17 kg 2 回/年	20 kg 2 回/年
白 菜	710kg 8 回/年	965kg 10 回/年	629kg 10 回/年	767 kg 13 回/年	866 kg 13 回/年
生しいたけ	84kg 16 回/年	39kg 8 回/年	20kg 4 回/年		
干椎茸	23kg 20 回/年	13kg 14 回/年	22kg 20 回/年	33 kg 32 回/年	36 kg 28 回/年
み そ	436kg 27 回/年	173kg 10 回/年	63kg 4 回/年	116 kg 8 回/年	
ブルーベリー (ジャム)	50kg 4 回/年	11,401 個 4 回/年	11,401 個 4 回/年	10,905 個 4 回/年	
ブルーベリー (ゼリー)				10,521 個 4 回/年	10,072 個 4 回/年
甘夏みかん (シャーベット)	10,163 個 4 回/年	11,382 個 4 回/年			
甘夏みかん (ゼリー)			22,168 個 8 回/年		
みかん					
ぶどう				4,948 粒 2 回/年	4,400 粒 2 回/年

※かぼちゃは一部コロッケに、ブルーベリーはジャムとゼリーに加工して提供。

(14) 教育センター

教育センターでは、主に多摩市立小・中学校に在籍する児童・生徒・その保護者及び教職員を対象に、公認心理士・社会福祉士等が、各種事業を行っている。

ア 教育相談

教育相談では、子供が成長する過程で生じる様々な心理的・発達的な問題を、子ども自身が解決し、乗り越えていけるようになること、また保護者がそれをよりよく支えていけるようになることを目指して取り組んでいる。相談の内容としては、子どもの情緒面での課題や不登校等についての心配、学校での悩みやいじめに関する事など、広く教育に関するものであった。令和2年9月からは、発達支援室と教育相談室の窓口を発達・教育初回相談窓口一元化し、相談者が速やかに支援を受けられる体制づくりを行った。

項目 \ 年 度	元	2	3	4	5
教育相談（来所）件数	346	259	215	273	266
教育相談（来所）面接・連携回数	4,236	2,416	2,658	3,005	2,833
電話教育相談件数	20	5	9	9	12
インターネット・携帯相談件数	43	7	—	—	—
スクールソーシャルワーカー相談件数	35	34	46	31	36
スクールソーシャルワーカー面接・連携回数	1,023	1,024	1,245	957	1,146

※インターネット・携帯相談は令和2年度に発達・教育初回相談窓口に統合された。元年度までは講師派遣依頼も含めた件数

イ 特別支援教育マネジメントチーム

市内小・中学校の就学相談、転学相談、心理や医療の専門家による巡回相談等、通級入級・特別支援教室利用相談等の業務にあたり、特別支援教育の充実と発展を図るための活動を行った。

項目 \ 年 度	元	2	3	4	5	
就学相談件数	222	224	243	255	248	
転学相談件数	69	42	66	72	52	
巡回相談件数	69	36	50	53	40	
通級入級 相談件数	特別支援教室(情緒通級)	105	114	135	111	129
	難聴・言語	12	22	15	18	19

第二次多摩市特別支援教育推進計画に基づく、行政・学校・保護者・関係機関の連携の強化についても各種会議への参加等、連携強化を行った。また特別支援教育の啓発活動を充実させる取り組みとして、教育指導課主催の教育支援フォーラムにおいて、第二次特別支援教育推進計画について説明を行った。

ウ 適応教室（ゆうかり教室）、VLP事業、適応指導（日本語指導）

適応教室は、市内の公立小・中学校に在籍し、何らかの理由により学校に登校しない・できない児童・生徒を対象に、様々な個別指導や集団活動を通して、集団生活への適応力を高め、早期の学校復帰に向けた支援を行った。また、e-ラーニングを導入し、不登校児童・生徒への学習機会の確保を図った。

VLP事業は、学校に登校しない・できない児童・生徒や日本語指導が必要な児童・生徒に対して、オンライン上の3D仮想空間「VLP（バーチャル・ラーニング・プラットフォーム）」を活用し、従来の対面での支援に加え、オンラインでの学習支援や相談場所・居場所づくりを行った。

適応指導（日本語指導）は、帰国児童・生徒や外国籍などで、日本語の指導が必要な児童・生徒に対して、市立小・中学校へ指導員を派遣し、日本語や生活習慣について指導や支援を行った。

項 目	年 度				
	元	2	3	4	5
ゆうかり教室通室者数	41	32	49	73	76
ゆうかり教室週1日以上 の定期通室者数	—	—	—	31	35
プログラム改善事業 （コアラタイム）	回数	—	—	33	43
	参加人数	—	—	276	303
適応指導（日本語指導） 実施人数	22	18	19	17	24
VLP	不登校支援	—	—	—	28
	日本語指導	—	—	—	3

・適応教室プログラム改善事業（コアラタイム）

令和4年度から開始した、学習指導、生活指導以外の学びのプログラムで児童・生徒の社会的自立を支援するプログラム（事業）である。ボードゲーム、モノづくり、自分たちで企画を考えるなど、子どもたちにとって魅力のあるコンテンツを提供し、意欲を高め自己肯定感を育むこと、また、個別の関わりが多い子どもたちがプログラムの中で自然と他者と関わり、コミュニケーションできる機会をつくることを目的としている。

・ゆうかり教室保護者交流会

令和5年度はじめて「ゆうかり教室保護者交流会」を開催した。「コアラタイム」の導入等により、通室する児童・生徒が増加していることを踏まえ、ゆうかり教室で子どもたちがどのように過ごしているのかを知る機会を作ること、また保護者同士の交流・情報交換等ができるようにすることを目的として実施した。10名の参加があった。参加者からは、開催継続の要望があったため、令和6年度も開催回数を増やして実施予定である。

3 社会教育

(1) 多摩市学びあい育ちあい推進審議会

教育委員会組織が連携し効果的に社会教育行政が推進できるよう、社会教育委員の会議と公民館運営審議会を統合し、図書館協議会や文化財保護審議会の委員等も加え平成24年4月1日に設置した。

本審議会は社会教育の振興及び社会教育と学校教育の連携を図るとともに、生涯学習の理念を踏まえ、教育活動に関わる全ての市民の心身ともに健やかな成長に資する教育行政を推進するため、教育委員会の諮問に応じて調査審議し答申するほか、必要に応じて教育委員会に提言することができるものである。学びあい育ちあい推進審議会委員は、社会教育行政等に市民の意見を反映させるための、地域住民と行政のパイプ役を担っている。

令和5年度学びあい育ちあい推進審議会審議状況等

単位：回

区別	月別												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
定例会	1	1			1			1		1	1		6
東京都市町村社会教育委員 連絡協議会関係 会議・大会等	1			1				1	1		1		5
計	2	1	0	1	1	0	0	2	1	1	2	0	11

令和5年度学びあい育ちあい推進審議会活動内容

会議名	年月日	内容
定例会	令和5年4月21日	(報告) ①遊々の森における体験活動に関する協定の更新について ②令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について ③公民館事業進捗状況について ④公民館施設使用状況について ⑤令和5年度公民館年間事業計画について ⑥令和5年度多摩市立図書館事業計画について ⑦令和4年度地域学校協働活動推進委員会の開催について ⑧令和4年度地域学校協働活動研修の実施について ⑨多摩市地域学校協働活動推進事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について (協議) ①令和5年度多摩市文化団体連合への補助金交付について ②令和5年度社会教育関係団体補助金の交付について ③多摩市立永山公民館・関戸公民館の組織について (連絡) ①中央図書館、関戸図書館活動室の利用について ②図書館本館閉館記念イベントの開催について ③多摩市立中央図書館の内覧について
定例会	令和5年5月19日	(報告) ①令和4年度公民館事業報告について

会議名	年月日	内容
定例会	令和5年8月18日	<ul style="list-style-type: none"> ②令和4年度公民館施設使用状況について ③公民館施設使用状況について ④公民館事業進捗状況について ⑤多摩市営永山複合施設駐車場指定管理者候補者選定に関する委員会等について ⑥多摩市図書館協議会委員の決定について ⑦第14回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》について (協議)①令和6年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会にむけて ②多摩市立永山公民館・関戸公民館の組織について (連絡)①中央図書館オープン直前イベントの開催について (報告)①令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について ②公民館事業進捗状況について ③公民館施設使用状況について ④多摩市立永山公民館・関戸公民館の組織について ⑤多摩市立中央図書館開館後の利用状況等について ⑥令和4年度地域学校協働活動の報告について (協議)①第4次多摩市生涯学習推進計画の令和4年度内部評価について ②令和3年度学育審提言書に基づく事業の評価について (報告)①中学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動への移行に向けて ②公民館事業進捗状況について ③公民館施設使用状況について ④令和5年度公民館等利用者懇談会の実施について ⑤永山公民館・関戸公民館の組織改正について ⑥第4次多摩市生涯学習推進計画の令和4年度内部評価について ⑦多摩市立八ヶ岳少年自然の家の食事料の改定について ⑧令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会について (協議)①令和3年度学育審提言書に基づく事業の評価について (報告)①多摩市文化芸術振興計画策定について ②健幸まちづくり基本方針の改定案について ③公民館事業進捗状況について ④公民館施設使用状況について ⑤多摩市営永山複合施設駐車場の指定管理者の指定について ⑥令和4年度多摩市立図書館事業評価について ⑦令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流会・社会教育委員研修会について (協議)①令和3年度学育審提言書に基づく事業の評価について (報告)①令和3年度学育審提言書に基づく事業評価の提出について ②八ヶ岳少年自然の家令和6年度移動教室等の受け入れ予定について ③公民館事業進捗状況について ④公民館施設使用状況について ⑤令和5年度公民館等利用者懇談会の報告について ⑥(仮称)第二次多摩市読書活動振興計画の策定方針について
定例会	令和5年11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ②令和3年度学育審提言書に基づく事業の評価について (報告)①中学校部活動の地域連携及び地域クラブ活動への移行に向けて ②公民館事業進捗状況について ③公民館施設使用状況について ④令和5年度公民館等利用者懇談会の実施について ⑤永山公民館・関戸公民館の組織改正について ⑥第4次多摩市生涯学習推進計画の令和4年度内部評価について ⑦多摩市立八ヶ岳少年自然の家の食事料の改定について ⑧令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会について (協議)①令和3年度学育審提言書に基づく事業の評価について (報告)①多摩市文化芸術振興計画策定について ②健幸まちづくり基本方針の改定案について ③公民館事業進捗状況について ④公民館施設使用状況について ⑤多摩市営永山複合施設駐車場の指定管理者の指定について ⑥令和4年度多摩市立図書館事業評価について ⑦令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流会・社会教育委員研修会について (協議)①令和3年度学育審提言書に基づく事業の評価について (報告)①令和3年度学育審提言書に基づく事業評価の提出について ②八ヶ岳少年自然の家令和6年度移動教室等の受け入れ予定について ③公民館事業進捗状況について ④公民館施設使用状況について ⑤令和5年度公民館等利用者懇談会の報告について ⑥(仮称)第二次多摩市読書活動振興計画の策定方針について
定例会	令和6年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ②令和3年度学育審提言書に基づく事業の評価について (報告)①多摩市文化芸術振興計画策定について ②健幸まちづくり基本方針の改定案について ③公民館事業進捗状況について ④公民館施設使用状況について ⑤多摩市営永山複合施設駐車場の指定管理者の指定について ⑥令和4年度多摩市立図書館事業評価について ⑦令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流会・社会教育委員研修会について (協議)①令和3年度学育審提言書に基づく事業の評価について (報告)①令和3年度学育審提言書に基づく事業評価の提出について ②八ヶ岳少年自然の家令和6年度移動教室等の受け入れ予定について ③公民館事業進捗状況について ④公民館施設使用状況について ⑤令和5年度公民館等利用者懇談会の報告について ⑥(仮称)第二次多摩市読書活動振興計画の策定方針について
定例会	令和6年2月16日	<ul style="list-style-type: none"> ②令和3年度学育審提言書に基づく事業の評価について (報告)①令和3年度学育審提言書に基づく事業評価の提出について ②八ヶ岳少年自然の家令和6年度移動教室等の受け入れ予定について ③公民館事業進捗状況について ④公民館施設使用状況について ⑤令和5年度公民館等利用者懇談会の報告について ⑥(仮称)第二次多摩市読書活動振興計画の策定方針について

会議名	年月日	内 容
		⑦第15回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》の開催について ⑧令和5年度地域学校協働活動推進委員会の開催について ⑨令和4年度第4次多摩市生涯学習推進計画評価報告書について (協議)①令和6年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3ブロック研修会について

令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会関係

研修名	年月日	内 容
定期総会 社会教育委員 研修会	令和5年4月15日	【社会教育委員研修会】 演 題：対話からつくろうーみんなの願いをつなぐ社会教育 講 師：東海大学スチューデントアチーブメントセンター 大学院人間環境学研究科 教授 二ノ宮リム さち 氏
理 事 会	令和5年7月11日	(報告事項) 令和5年度役員・理事名簿および輪番表他について 他4件 (協議事項) 令和5年度都市社連協ブロック研修会について 他3件
第3ブロック 研 修 会	令和5年11月4日	統一テーマ：学びが広がり 人がつながり みんなの願いでつくる まち 研修テーマ：人と人がつながり、地域資源を活かしたまちづくり 第1部 基調講演 演 題：大人と子どもが学び合う生涯学習のまちづくり ～地域学校協働の実践から考える～ 講 師：八王子市教育委員会教育委員・前八王子市生涯学習審 議会委員 柴田 彩千子 氏 第2部 日本遺産フェスティバルについて 日本遺産DVD鑑賞
交 流 大 会 社会教育委員 研 修 会	令和5年12月9日	第1部 交流大会 ・式典 第2部 ・各ブロック研修会実施報告 第3部 社会教育委員研修会 演 題：調布市社会教育計画について 講 師：青山学院大学 名誉教授 鈴木 眞理 氏
理 事 会	令和6年2月13日	(報告事項) 令和5年度(一社)全国社会教育委員連合第2回総会について 他2件 (協議事項) 令和5年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰につい て 他3件

(2) 家庭教育支援事業

核家族化や少子化が進む中、保護者等は様々な子育ての課題に直面している。このような保護者等の悩みに寄り添い不安の解消を図るため、乳幼児期や小中学生の子どもを持つ保護者等を対象として、以下の事業を実施した。

ア 家庭教育学級の実施

子育てなど、家庭教育に関する学習の場の設定及び情報の提供を行い、家庭の教育力の向上を図ることを目的とした「家庭教育学級」事業を実施した。

年度ごとに、小学校・中学校・幼稚園・保育園の中から開催を希望する学校、園でPTAや保護者会を含む実行委員会を組織し、家庭教育に関する学習会を開催している。（令和5年度は6校で実施）

イ 家庭教育講座の実施

子育て期の保護者が気軽に参加しやすい講座として、公民館や児童館を会場に「家庭教育講座」を実施した。講座への参加を通じて、家庭教育に関する学習機会の提供や参加者同士の交流、地域施設とのつながりができるような場となるとともに、家庭教育について新たな気付きを持ってもらうことを目的として実施した。（令和5年度は4施設4講座実施）

(3) 社会教育団体への支援

社会教育団体（成人教育に関する団体で構成される連合体）である、多摩市公立小・中学校PTAそれぞれの連合体に対し、活動の活性化及び効率化を目的に、多摩市社会教育団体補助金要綱に基づく補助金の交付等の支援を行っている。（令和5年度はいずれの連合体も補助金交付なし）

ア 多摩市立小学校PTA連絡協議会（小P連）

市内には17校の小学校があり、各校のPTA及びPTAと同様の活動をしている団体（父母会・世話人会）は、組織形態にこだわらず小P連に参加することができ、令和5年度は16団体が加盟している。これらの団体同士が連絡を取り合い、暑さ対策・地球温暖化、多様性教育、これからのPTAの在り方、多摩市の教育とくらし・ICT活用の4つをテーマに市長・教育長懇談会の開催や「小P連だより」の発行を通じて、各校PTA組織の活動の活性化や家庭の教育力の向上に貢献している。

イ 多摩市立中学校 P T A 連合会（中 P 連）

市内には9校の中学校があり、各校の P T A 及び P T A と同様の活動をしている団体で構成されており、令和5年度は全9団体が加盟している。コロナ禍で中止としていた高校説明会については形式を変更して再開、定例の運営委員会において各 P T A 間の情報交換等を行うほか、今後の P T A 活動のあり方、オンライン授業、多様性教育などをテーマに市長・教育長懇談会の開催や「中 P 連だより」を発行して活動内容の情報発信を行った。

(4) 地域学校協働活動

地域教育力の低下が指摘され、子どもを取り巻く状況が様々に変化する中で、平成20年度から地域教育力支援コーディネーターを配置し、学校支援の手法や課題等の分析、支援策の試行実施及び成果の検証を経て、平成23年度から教育連携支援事業を開始した。

平成30年度に市内公立小・中学校全校で教育連携支援事業を展開したことを受けて、令和元年度から学校・家庭・地域の連携・協働を推進するため、段階的に地域学校協働活動への移行を開始し、令和3年度に市内公立小・中学校全校の移行が完了した。

また、地域の団体等と連携し、子どもたちの学びの提供を行っている。

ア 協働活動推進の担い手

(ア) 地域教育力支援コーディネーター

市内小・中学校に配置している地域学校協働活動推進員を統括するとともに、学校の課題や要望に対して、地域の人材や N P O、大学、企業等と連携を図りながら支援するために、教育委員会に配置している専門スタッフ

(イ) 地域学校協働活動推進員

学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の特色を生かして、子どもの成長を育む体制を整えることを目的に活動し、学校と地域学校協働活動ボランティアとの間に立ち、相互の適切な連携関係を作り、総合的な連絡・調整を行う役割を担う人材

イ 地域力を生かした学習支援の推進

各学校に地域学校協働活動推進員、または教育連携コーディネーターを配置し、保護者、地域住民や大学生等による学習の補助、基礎学力の定着及び学習習慣の確立に向けた授業時間以外での補習（地域未来塾）、様々な体験活動の機会の提供等に取り組んだ。

○対象学校数：26校

○地域学校協働本部設置数：23か所

○参加ボランティア人数：6, 276人（延べ）

(5) 子ども体験事業

子どもたちが豊かな自然に親しみ、自主的・自発的に遊ぶことのできる場を提供することにより、遊びを通して、心身や情緒を成長・発達させ、また社会性を身につけることを目的として、主旨に賛同する市内大学との市民協働委託により大谷戸プレーパークTAMAを実施した。

また、野外活動の必要性、自然体験活動、子どもとの関わり方など技術を学び、子どもたちのさまざまな体験活動をサポートする自然体験活動指導者養成講座を年間通して開催し、5人の参加があった。

○実施期間：令和5年4月～令和6年3月の毎月1回土曜日に実施

○実施日数：11日（当初計画12日、天候不良のため5月中止）

○参加人数：1,514人（年間）

大谷戸プレーパークTAMA



(6) 文化財保護審議会

多摩市文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保護及び活用に関する重要事項を調査審議し、これらの事項について教育委員会に建議するために設置された。審議会委員の任期は2年、令和5年度の委員総数は9人（定数10人）である。

令和5年度開催状況

回	開催日	内 容
1	令和5年5月30日	(1) 報告 ① 東京都指定無形民俗文化財（民俗技術）の指定について ② 市指定天然記念物の保存処置について ③ 多摩市立多摩ふるさと資料館の状況について (2) 協議 ① 都指定史跡「稲荷塚古墳」暫定整備について ② 令和5年度多摩市文化財保護審議会の協議予定等について (3) その他
2	令和5年8月4日	(1) 報告 ① 都指定史跡「稲荷塚古墳」暫定整備について ② 多摩中央公園改修整備工事に伴う旧富澤家住宅の休館について ③ 文化財指定基準及び文化財補助金等に関する調査結果について (2) 協議 ① 鶴牧西公園の国登録有形文化財保存活用事業について (3) その他
3	令和5年11月8日 (書面開催)	(1) 報告 ① 都指定史跡「稲荷塚古墳」暫定整備について ② 都・市指定天然記念物の保存処置について ③ 文化財資料の処分（廃棄）等について ④ 旧多摩聖蹟記念館事業について ⑤ 鶴牧西公園の国登録有形文化財保存活用事業について (2) その他
4	令和6年2月9日	(1) 報告 ① 都指定史跡「稲荷塚古墳」暫定整備について ② 文化財資料（民俗・生活資料）の活用及び処分について ③ 旧多摩聖蹟記念館事業について (2) 協議 ① 多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の推薦について ② 令和6年度文化財保護事業の予定について ③ 鶴牧西公園の国登録有形文化財保存活用計画の策定について (3) その他

(7) 文化財保護事業

市内文化財の保護・保全を図るため、昭和47年に多摩市文化財保護条例を制定し、昭和48年の文化財指定を皮切りに、文化財の適切な保護・保存に取り組むとともに、文化財の活用のために必要な措置を講じ、郷土の文化に対する市民の理解促進に努め、後世に継承するため、次の事業を実施した。

ア 文化財映画の貸出及び撮影記録映像デジタル化事業

多摩ニュータウンの開発や都市化の流れにより、変貌し消えつつある多摩市の原風景や暮らしを映像にとどめ、後世に伝えるため、昭和54年から撮影を始め、昭和59年度から平成9年度にかけて10本の文化財映画を製作した。文化財映画は無料で貸出を行っている。

また、多摩市で40年以上継続されてきた文化財等の撮影記録映像を後世に継承するため、今後も利活用可能な記録媒体へデジタル化する作業を実施した。

イ 文化財資料の貸出、小・中学校見学対応

学校教育との連携を図り、社会科カリキュラム、総合的な学習等に合わせた文化財資料（考古、歴史、民俗・生活資料）の貸出等を実施した。

また、文化財施設（多摩ふるさと資料館、旧加藤家・旧有山家、旧富澤家、旧多摩聖蹟記念館）において小・中学校の見学対応を17件実施した。

ウ 指定天然記念物の保存処置

近年、東京地方でシイ類、カシ類及びコナラ等を加害する“カシノナガキクイムシ”の食害により枯死する樹木（ナラ枯れ）が多くなっていることから、都指定天然記念物「平久保のシイ」、市指定天然記念物「スダジイ」2本（連光寺八坂神社内及び一本杉公園内）に対して、被害防止対策として薬剤散布を実施した。

また、市指定天然記念物「シダレザクラ」（鶴牧西公園内）は、令和4年度に実施した樹勢回復のための施肥に引き続き、令和5年度は樹木医による成育環境の確認及び樹勢回復のための調査や枝折れ保護対策を実施した。

エ 展示・普及事業

(7) 「東京文化財ウィーク2023」事業

地域における文化財保護事業の理解推進、地域との連携、文化財の活用等を図るため、東京都全域で行われた「東京文化財ウィーク2023」事業（東京都教育委員会主催）の一環として、企画事業3件、公開事業3件を実施した。

	No.	事業名・展示会名（場所）	期 間	来場者数
企 画 事 業	1	秋季収蔵品展「維新志士たちの月」 （旧多摩聖蹟記念館）	令和5年9月1日 ～11月12日	1,669人
	2	特別展『『食』～つくる・食べる・ほぞんする～』（多摩ふるさと資料館）	令和5年10月27日 ～11月30日	781人
	3	都指定有形文化財（彫刻）・木造隨身倚像 <特別公開>（小野神社）	令和5年11月12日	80人

	No.	公開文化財名（公開場所）	期 間	来場者数
公 開 事 業	1	都指定史跡・稲荷塚古墳	令和5年10月28日 ～11月5日	50人
	2	都指定史跡・霞ノ関南木戸柵跡 （熊野神社）	令和5年10月28日 ～11月5日	25人
	3	都指定天然記念物・平久保のシイ （平久保公園）	令和5年10月28日 ～11月5日	40人

(イ) 東京都埋蔵文化財センター共催事業

多摩の歴史や文化財等を学ぶ一端とする講演会を東京都埋蔵文化財センターと共催で実施した。

事業名（場所）	開催日	来場者数
文化財講演会「発掘調査 むかし、今」 （東京都立埋蔵文化財調査センター）	令和6年2月24日	76人

(8) 埋蔵文化財発掘調査事業

多摩市内には、土木工事等の開発事業を行う際に届出が必要となる「周知の埋蔵文化財包蔵地」が297か所、設定されている。令和5年度は開発行為等に伴う埋蔵文化財の発掘届（通知）が155件提出された。その中で、地盤改良工事等の地下に大きな影響を及ぼす工事や道路等の恒久的な工作物の設置工事に対して、試掘確認調査を14件実施した。本発掘調査の実施はなかった。

令和5年度埋蔵文化財調査実施状況

No.	工事内容	所在地 (多摩市)	調査日	調査形態
1	分譲住宅	連光寺六丁目	令和5年4月17日	委託
2	宅地造成	落川	令和5年5月1日	委託
3	個人住宅	連光寺三丁目	令和5年5月16日	委託
4	分譲住宅	和田	令和5年5月22日	委託
5	個人住宅	関戸四丁目	令和5年6月2日	委託
6	宅地造成・個人住宅	百草	令和5年6月8日	委託
7	集合住宅	一ノ宮三丁目	令和5年7月26日	委託
8	個人住宅	百草	令和5年10月12日	委託
9	宅地造成	百草	令和5年10月10日	委託
10	宅地造成	和田	令和5年11月15日・16日	委託
11	個人住宅	桜ヶ丘四丁目	令和6年1月5日	委託
12	集合住宅	和田	令和6年1月12日	委託
13	宅地造成	和田	令和6年2月26日～3月1日	委託
14	分譲住宅	和田	令和6年3月8日	委託

(9) 旧多摩聖蹟記念館管理運営事業

都立桜ヶ丘公園内にある旧多摩聖蹟記念館は、市指定文化財として保護・保存し、展示・見学施設、貸ギャラリーとして活用するとともに企画展の開催、記念館広報誌の発行、多摩市植物友の会との共催による自然観察会等を実施している。同館は市指定有形文化財であるとともに、東京都の「特に景観上重要な歴史的建造物等」に選定され、令和4年6月には一般社団法人 DOCOMOMO J a p a n（ドコモモ・ジャパン）による2021年度「日本におけるモダン・ムーブメントの建築264選」に選定された。

都立桜ヶ丘公園内の旧多摩聖蹟記念館



ア 展示等事業

同館の収蔵物である幕末、明治に活躍した人々の書画等の展示や共催事業を実施した。

No.	期 間	事 業 名	来館者数
1	令和5年3月18日 ～8月31日	2023年度春季企画展「生誕180年 田中光 顕—最後の志士と呼ばれた男—」	3,655人 ※1
2	令和5年9月1日 ～11月12日	2023年度秋季収蔵品展「維新志士たちの 月」	1,669人
3	令和5年11月30日 ～令和6年2月6日	2023年度冬季企画展 パルテノン多摩・地域連携展示「牧野富太 郎と多摩」	2,038人
4	令和6年2月29日 ～5月26日	2024年度春季企画展「多摩聖蹟記念館と 建築家・蔵田周忠」 (東京都市大学共催事業)	1,154人 ※2

※1 来館者数は令和5年4月1日～8月31日の人数

※2 来館者数は令和6年2月29日～3月31日の人数

イ その他事業

事業名	内容	参加者数
自然観察会 (8回)	「多摩市植物友の会」との共催事業 毎年8月・9月を除く毎月第1火曜日開催(雨天中止)	440人
植物写真展示	「多摩市植物友の会」の協力による植物写真展示	—
子ども昆虫観察会 (4回)	環境政策課と共催 (令和5年5月14日、令和5年7月29日、令和5年10月22日、 令和6年3月2日開催)	47人
音楽の集い	都立桜ヶ丘公園と共催「音楽の集い～歴史・自然とかなで るハーモニー」(令和5年11月3日開催)	114人
広報誌「雑木林」 発行	偶数月に実施事業や収蔵資料紹介、自然観察会の記録等を 掲載する広報誌を発行(vol.213～218/各1,100部)	—



旧多摩聖蹟記念館内部

(10) 古民家（旧有山家・旧加藤家・旧富澤家）管理運営事業

一本杉公園内にある旧有山家は、市指定有形文化財として保護・保存を図るとともに、展示施設として公開している。また、旧加藤家は、展示施設及び古民家の特色を生かした古民家体験学習、茶会、句会等の活動の場として利用登録団体に開放している。

多摩中央公園内にある旧富澤家は、文化財として保存・公開するとともに、学習、語らいの場等として、施設の一部を除き団体に開放している。（多摩中央公園改修工事に伴い、令和5年8月から令和7年3月まで休館）

ア 展示事業（旧富澤家）

No.	期 間	事 業 名	来館者数
1	令和5年7月1日 ～7月30日	多摩市立中央図書館開館記念・旧富澤家特別展示 「旧富澤家とゆかりの品々～富澤家と新選組を中心として～」	571人

多摩中央公園内の旧富澤家



イ その他事業

一本杉公園内の炭焼き窯を市民団体に貸出した。

No.	実 施 期 間
1	令和5年11月5日～12月10日
2	令和6年1月21日～2月25日
3	令和6年3月3日～4月7日

(11) 多摩ふるさと資料館管理運営事業

多摩ふるさと資料館は、文化財を保管するとともに、収蔵展示及び文化財を利用した体験学習、情報発信等を行うことにより、郷土の文化に対する市民の理解促進を図り、後世に継承することを目的に、令和4年4月1日に開館した。資料館には文化財資料の展示を行う「展示室」5室と、市内小・中学生を中心とした社会科見学のオリエンテーション等を行う多目的室、文化財資料の収蔵室がある。

ア 実施事業

No.	期 間	事 業 名	開催場所	来場者数
1	令和5年7月22日 ～9月3日	夏季企画展 「多摩の風景うつりかわり～貝取の今むかし～」	多目的室	— ※
2	令和5年7月22日 ～9月3日	夏休み子どもイベント2023 クイズに挑戦！「むかしの多摩ってどんなところ？」	展示室1～5・ 多目的室	76人
3	令和5年8月9日、 令和5年8月22日	夏休みイベント企画展解説&収蔵庫ツアー (2日間開催)	多目的室 他	7人
—	令和5年8月1日 ～9月3日	パルテノン多摩連携展示 「写真展：多摩ニュータウンの移り変わり～ 貝取を中心に～」(主催：パルテノン多摩共 同事業体)	パルテノン多 摩 4 階 廻廊	— ※
4	令和5年10月27日 ～11月30日	キタカイフェスタ開催イベント 特別展「『食』～つくる・たべる・ほぞんする ～」	多目的室	781人
5	令和6年3月10日	キタカイ防災フェスタ開催イベント 展示室5 解説	展示室5	322人

※自由入場のため、来場者数のカウントはしていない

イ その他事業

No.	期 間	事 業 名	開催場所	参加者数
1	令和5年11月3日 ～11月23日 (全5回)	「多摩のめかいつくり講座」 (主催：多摩めかいの会・多摩市グリー ンボランティア連絡会、共催：多摩市 教育委員会)	多摩市立市民活 動・交流センター 創作活動室2 他	75人

多摩ふるさと資料館 展示室の状況



展示室 1

「導入 — 多摩ふるさと資料館へようこそ！」



展示室 2

「埋蔵文化財 — 縄文時代から古代までを中心に歴史を知る」



展示室 3

「暮らし — むかしの暮らしを見る、学ぶ」



展示室 4

「生業（なりわい） — むかしの仕事を学ぶ」



展示室 5

「働く車 — 運搬中心の大型民具を見る、学ぶ」

(12) 学校開放

多摩市における社会教育の振興を図るため、学校教育に支障のない範囲内で、社会教育活動を行っている団体に昭和50年12月から市立小・中学校全校の学校開放を実施している。

また、社会教育活動をさらに充実させるために、市立中学校全校に設置したクラブハウスを軽スポーツ等の活動を中心に市民の利用に供している。

学校開放事業は、平成26年4月1日から有料化した。使用料は、1時間あたり校庭300円、体育館400円、クラブハウス・特別教室200円、テニスコート300円、校庭夜間照明設備900円（別に校庭使用料300円が加算）、陶芸窯は1回あたり1,000円としている。使用料の徴収は、団体が事前に使用券を購入し、使用後に使用終了報告書に貼付する方式で徴収している。

ア 開放施設及び開放時間

開放施設 開放日	開 放 時 間				
	校庭 テニスコート(全中学校)	体育館 教室 多目的ホール	夜間照明設備 (3中学校)	クラブハウス (全中学校)	陶芸窯
土曜日 日曜日 国民の祝日 長期休業日	夏期(4月～9月) 8:30～18:00 冬期(10月～3月) 8:30～17:00	8:30～21:30	日没～21:30	8:30～21:30	8:30～21:30
平日	夏期(4月～9月) 下校時刻～18:00 冬期(10月～3月) 下校時刻～17:00	下校時刻～21:30	下校時刻～21:30		

※ ただし、学校教育に支障のない範囲とする。

※ 学校開放の期間は、1月4日から12月28日までとする。

イ 開放施設の使用対象団体

原則として、多摩市に在住、在勤又は在学するものが半数以上を占める10人以上からなる団体で、当該団体の責任者として成人が含まれていること。（多摩市民等が過半数に満たない場合は、市外団体として規定の倍額の使用料となる。）

ウ クラブハウス

中学校全校に設置している施設で、主に軽スポーツ等に使用でき、社会教育施設として地域での生涯学習の場となっている。

エ 校庭夜間照明設備

和田中学校、多摩永山中学校、鶴牧中学校の校庭に設置してあり、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図っている。主に野球、ソフトボール、サッカー等に使用できる。（ただし、天候及びグラウンドコンディションの悪い場合を除く。）

オ 開放状況（令和5年度開放施設）

小学校 17校（全校） ・ クラブハウス 9校（中学校全校）
中学校 9校（全校） ・ 夜間照明 3校（和田中・多摩永山中・鶴牧中）

カ 使用団体

スポーツ団体	サッカー・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・社交ダンス・ジャズダンス・野球・剣道・卓球・空手・ソフトボール・テニス・体操など
その他	子ども会・青少年問題協議会地区委員会・音楽活動（器楽演奏、合唱他）・幼児育成活動など

※この外、自治会等を単位とした団体が、主にスポーツ・レクリエーション活動に利用している。

夜間照明設備付き校庭を使用したサッカー練習



学校校舎大規模改修にあわせて改修された和田中学校クラブハウス



(13) 永山公民館開催事業

ア 地域・生活課題を考える事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者
1	市民企画講座 市民団体から地域、生活課題等の企画を募集し自主的な学習活動の促進を図り、広く学習の機会を提供する（提携事業含む）	6～3月	25	集会室 他	294
2	ベルブゼミ 地域課題を掘り起し、継続した学習から課題意識が地域づくり・人づくりにつながるよう実施 ①健康まちづくり推進室連携 ②聞き書き	①7～11月 ②10～12月	① 4 ② 4	集会室 他	①173 ②48
3	地域課題講座 地域の生活課題を共有し解決の糸口を見出すため、コミュニティセンター等の関係機関と共催で開催 ①貝取こぶし館 ②関・一つむぎ館	3月	2	コミュニティセンター	①30 ②27

イ 学校・家庭教育支援事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者
4	子育て支援講座 子育ての不安、悩みを参加者同士が共有し学習することを通して、ネットワークを作る機会とする ※子育て応援コンサートを含む	3月	1	ベルブホール	120
5	保育室開放デー 保育室を開放して、ゆったりと過ごせる場の提供や、乳幼児とその親同士の交流とともに子育てに関する情報も広く発信していく（ミニイベント含む）	毎月 第3月曜	12	保育室	大人 77 子ども 79
6	子育てつどいの広場事業 コーディネーターが常駐し、安心して集い交流できる場を作るとともに、市内団体や保育園などとも連携し、地域の子育て環境の充実を図る	4～3月	24	保育室	242組 大人 311 子ども 314

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
7	小学校PTA連絡協議会共催事業	小P連が企画運営する事業を共催することで広く公民館を知ってもらい、小P連との関係づくりと家庭の教育力向上を目指して開催	1月	1	ヴィータホール	50
8	小学生対象科学等体験講座	学校や地域では体験しにくい専門性の高い講座や、物づくりなど地域の人材と関わり親子で参加体験する講座等を開催し、世代を超え視野を広めるきっかけをつくる ①夏休み②和菓子講座③春休み	① 8月 ② 11月 ③ 3月	① 4 ② 1 ③ 1	講座室 他	① 58 ② 16 ③ 46
9	学校や地域と連携した事業	子どもたち自身が体験で学ぶ講座など、学校や地域と連携して地域全体で子ども達を育む意識の普及に取り組む（市内高校協力）	12月	3	ギャラリー他	72
10	家庭教育学級・家庭教育講座	子どもたちの豊かな心を育成していくために保護者に対して生活習慣の重要性や子育てに関する知識を学ぶ機会を作り、家庭の教育力向上を目指す	7～3月	10	公民館 他	541
11	職場体験等の受入れ	市内中学生の職場体験や事業へのボランティアの受入れをし、人と接すること、働くことなどを学ぶ ※調べ学習	10～1月	3	公民館 内	7

ウ 市民・時事問題講座事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
12	障がい者青年教室	心身に障がいを持つ青年を対象に、余暇の仲間づくりや社会参加への一歩を踏み出すきっかけをつくる（美術展含む）	5～3月 (8・9・1月を除く)	9	集会室 ホール 他	245
13	人権について考える講座	一人ひとりがあらためて人権の大切さについて学び考え、個性と多様性を尊重しながら地域での実践に結びつけていく (記録映画の上映と交流会)	3月	1	ベルブ ホール	12

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
14	時事・現代課題講座	時事問題、生活文化等について学習し、知識を深め今後の生活に結びつける（SDG's パネル展）	3月	6日間	ギャラリー	87
15	市民講座	市民生活に身近なテーマを取り上げ学習を継続し知識を楽しく深め合うことで、地域での豊かな生活に結びつける	4～1月	18	集会室 他	212

エ 地域（永山駅周辺）活性化事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
16	永山フェスティバル	実行委員会がグリナード永山等と一体になって開催する	9月	2日間	ベルブホール 他	54,741
17	地域イベント協力事業	グリナード永山と一体になって、鯉のぼり・イルミネーションの飾り付けなどを行い、駅周辺の賑わいづくりをする。令和5年度は、ふるさと多摩映画上映会も実施。	4～2月	3	公民館内 他	168 (映画会)

オ 市民文化活動支援事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
18	サロンライトコンサート	身近な場所で気軽に音楽に触れる機会と談話コーナーのピアノを活用したコンサート	5～3月	10	ベルブホール	1,107
19	TAMAシネマフォーラム	TAMA映画フォーラム実行委員会が行う映画祭の支援	11月	9日間	パルテノン多摩 他	9,454
		TAMA映画フォーラム実行委員会が行う随時上映支援	5～3月	6	ベルブホール	2,281

カ 情報発信事業

事業名		内容	実施時期	回数
20	公民館通信 「たのしいまち」 の発行	市民ボランティアによる公民館の 行事や各種情報のお知らせ版発行	随時	6
21	ホームページで の情報提供	事業案内、募集などの情報提供	随時	随時
22	サークル紹介 カード	公民館施設利用団体で希望する団 体の情報提供を館内に掲示	毎年8月 更新	随時

キ その他連携等事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
23	多摩市・日野市 学びテラス	日野市公民館と情報共有や交流を 深めながらICTを活用した講座 などを開催。(関戸公民館に掲載)	—	—	—	—
24	デジタル創作体 験講座 (東京都)	小中学生を対象に、3Dプリンタ ・プログラミングソフトを使って 3Dゲーム作りなどを行う講座を 実施	12月	1	講座室	17



永山公民館と永山図書館がある ベルブ永山

(14) 関戸公民館開催事業

ア 地域・生活課題を考える事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者(人)
1	市民企画講座	市民団体から地域、生活課題等の企画を募集し自主的な学習活動の促進を図り、広く学習の機会を提供する。	8～11月	8	創作室 他	57
2	地域貢献講座	地域や生活上の課題を地域とつながり継続した事業や活動で解決していくを考える。令和5年度は「10代だけが集まる空間『TALKING with US!』」を実施。	8月	1	大会議室、市民ロビー	8
3	VITAふれあいまつり	地域で活動している団体間のネットワークを構築するとともに、公民館の活動を知り、新たな地域活動へのきっかけを創りだしていく。	8月	1	関戸公民館 TAMA女性センター 他	2,262
4	地域課題講座	地域の生活課題を共有し解決の糸口を見出すため、コミュニティセンター等の関係機関と共催で開催 永山公民館共催	再掲	同左	同左	同左

イ 学校・家庭教育支援事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
5	子育て安心講座	安心して子育てに取り組めるような環境づくりのため、主に思春期の子どもへの対応、親の役割を学ぶ。	12月	1	パルテノン多摩	4
6	薬物乱用防止講座	社会的、教育的に問題となっている薬物について、その怖さや影響の大きさを知る	2月、 3月	2	①多摩中②東愛宕中	①148 ②174
7	家族問題講座	子どもの自立のための生と性などについて、家族として取り組むこと、できることを考える機会とする	—	—	—	—
8	冬の親子茶道教室	茶道の作法を通じて、挨拶の大切さ、思いやりの心などを親子で学ぶ(伝承文化教室として実施)	—	—	—	—

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
9	職場体験等の受入れ	市内中学生の職場体験や事業へのボランティアの受入れをし、人と接すること、働くことなどを学ぶ	通年	3	事務室 他	6
10	保育室開放デーの実施	保育室の親・乳幼児の自由な利用により、家族間の交流や子育ての側面的援助をはかる	毎月 第1・3 水曜日 他	26	保育室 他	大人144 (児147)

ウ 市民・時事問題講座事業

事業名		内容	実施時期	回数	会場	延参加者
11	関戸地球大学院	環境、貧困、生物多様性など国際的な課題から、地域社会で生起している現象などを市内の6大学との連携で開催し、社会とどう関わるかを考える契機とする。	10～ 11月	7	大会議室	279
12	市民講座	市民生活において必要な時事問題、生活文化等について学習し、知識を深め今後の生活に結びつけていく。(スマホサロン、スマホ教室、テーマ別講座)	4～ 2月	10回	大会議室、創作室他	238
13	現代課題講座	その時々々の課題を捉えたテーマにより、さまざまな角度から課題を見つめる機会を設ける。令和5年度は環境政策課と共催で実施。	3月	1	ヴィータホール	72
14	郷土史講座	多摩の古代から現代までの歴史を学ぶことを、史跡見学会も含め実施し、郷土を知り、見つめ直す機会とする(たま学びテラスとして実施)	キ-24 参照	同左	同左	同左
15	伝承文化教室	伝統・伝承文化に親しみ、参加者間の交流も促進する。令和5年度は高校生以上対象の茶の湯教室を実施。	3月	2	茶室 和室	30

エ 地域（聖蹟桜ヶ丘）活性化事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者
16 市民ロビー活用事業	市民・団体等と催事を行い、聖蹟桜ヶ丘の賑わいつくりや公民館の周知を図る。令和5年度は関係課・団体への協力事業、公民館主催事業を実施	随時	10	市民ロビー	1,577
17 地域イベント協力事業	聖蹟桜ヶ丘地区で行われるせいせき桜まつりやせいせき朝顔市に合わせ、地域活性化に資する事業を企画実施する。	4・7月	2	ヴィータホール、ロビー他	688

オ 市民文化活動支援事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者
18 演劇フェスティバル	アマチュアの劇団が実行委員会形式で演劇公演を実施	4～3月	9劇団	ヴィータホール 他	1,497
19 マンスリーコンサート	市民の実行委員会と共催で実施する、身近な場所で音楽に親しんでいただけるコンサート	4～3月	8	ヴィータホール 他	1,102
20 What's JAZZ	市民の実行委員会と共催で実施する、ジャズコンサートの開催	6～3月	4	ヴィータホール 他	995

カ 情報発信事業

事業名	内容	実施時期	回数
21 公民館通信「たのしいまち」の発行	市民ボランティアによる公民館の行事や各種情報のお知らせ版発行	年6回発行	6
22 ホームページでの情報提供	事業案内、募集などの情報提供	随時	随時
23 サークル紹介カード	公民館施設利用団体に希望する団体の情報提供を館内に掲示	毎年8月更新	随時

キ その他連携事業

事業名	内容	実施時期	回数	会場	延参加者	
24	日野市・多摩市学びテラス	日野市との連携事業の一環として、ICTを活用する事業を実施する。令和5年度は郷土史講座、総括事業(講演・展示・体験)を実施した。	1~3月	7	屋外 大会議 室他	256
25	スマホ相談会 (東京都)	東京都デジタル局との連携により、高齢者のスマートフォンの相談に応じる機会を設ける。	5~1月	4	創作室 他	51
26	都民寄席 (東京都)	東京都との連携により都民寄席を実施し、市民及び近隣の都民の文化イベントを実施。	1月	1	ヴィー タホー ル	188
27	ふれあいこども まつり (東京都)	東京都・東京都文化財団との共催による子ども向け文化・芸術事業	3月	2日間	ヴィー タホー ル他	611
28	公民館50周年 記念事業(文化振 興財団協力)	公民館開設50周年事業として、パルテノン多摩で開催した「牧野富太郎展」の縮小版を開催。	8月	13日間	ギャラ リー	1,339
29	こどものまちた ま (市民団体共催)	仮想のまちを子どもたちだけで運営することを通して、内発的な学びの場を提供する。	2月	3日間	ヴィー タホー ル	185
30	ラスカル映画祭 ×ふれあいこど もまつり	ラスカル映画祭で、ふれあいこどもまつりのアウトリーチを実施。(マイムパフォーマンス等)	2月	2日間	ロビー	339
31	公民館50周年 記念事業「デジ ログ運動会」 (児童館協力)	デジタルゲームとアナログゲーム・運動遊びを競技種目に見立てた世代交流型の事業を実施。	3月	1	ヴィー タホー ル・ロ ビー	32



ヴィータ・コミュニネ7階の市民ロビー

(15) 図 書 館

ア 図書館の概要

多摩市立図書館は、昭和48年の開館以来、赤ちゃんからお年寄りまでのだれもが、気軽に読みたい本や必要とする資料を借りられる図書館をめざして、図書館網の整備と内容の充実に努めてきた。現在は、7つの図書館と1分室のネットワークによりサービスを提供している。

令和2年度に、「多摩市電子図書館」、「多摩市デジタルアーカイブ」を開始した。

中央図書館開館準備のため、令和5年5月7日をもって多摩市立図書館（本館）が閉館、7月1日に多摩市立中央図書館が開館した。中央図書館は、関戸図書館、永山図書館と同様にセルフ貸出機等関連機器を導入し、祝日開館を行うとともに開館時間を夜8時までとした。

イ 多摩市図書館協議会

図書館協議会は、図書館法の規定により図書館の運営に関し図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について館長に意見を述べる機関で、委員は学校教育及び社会教育関係者、学識経験者等から組織されている。定数は7人以内で、任期は2年となっている。

令和5年度は、委員7人で図書館の課題について協議した。

ウ 図書館の開館日等

名 称	開 館 時 間	休 館 日
多摩市立中央図書館	午前9時30分～午後8時	第1・3木曜日※国民の祝日・休日は開館
東 寺 方 図 書 館	午前10時～午後5時	木曜日 国民の祝日・休日
豊ヶ丘図書館		
聖ヶ丘図書館		
関 戸 図 書 館	午前9時30分～午後7時30分（平日） 午前9時30分～午後5時（土曜日曜祝休日）	木曜日※国民の祝日・休日は開館
永 山 図 書 館		
唐 木 田 図 書 館	午前10時～午後5時	月曜日 国民の祝日・休日
行 政 資 料 室	午前8時30分～午後5時	土曜日・日曜日 国民の祝日・休日

※休館日は、このほかに年末年始・特別整理日の休館がある

※令和5年度中央図書館の開館に伴い各図書館の開館時間、休館日を見直した。

エ 蔵書

市民の学習・余暇・調査研究など、多様な要求に応えるため、幅広い分野で書籍・視聴覚資料などを収集している。

年度	購入冊数	寄贈等冊数	除籍冊数	増減	蔵書数
元	23,363	4,265	31,267	△3,639	753,050
2	25,349	3,871	23,325	5,895	758,945
3	26,184	3,806	15,550	14,440	773,385
4	31,225	3,092	12,948	21,369	794,754
5	26,615	3,061	8,409	21,267	816,021

オ サービスの内容

図書館は、資料の貸出、予約及びレファレンス（図書等に対する情報の提供）をサービスの3本柱とし、児童・ティーンズ・障がい者という対象者別でもサービスを展開している。

(ア) 貸出

a 個人貸出

市内に在住、在勤又は在学者を対象とし、貸出期間は原則として14日間。また、京王線沿線七市の連携事業の相互利用協定により、日野、稲城、八王子、府中、調布、町田の市民にも貸出をしている。

b 団体貸出

市内の各種団体を対象に長期間まとまった冊数を貸出している。

貸出冊数及び貸出期間

団体	貸出冊数(上限)	貸出期間
読書会・読み聞かせ	50冊	3ヶ月
市立小・中学校	制限なし	1ヶ月
文庫活動団体	500冊	1年
幼稚園・保育園		
市立施設		
民間施設		
児童館・学童クラブ	500冊	

※市立小・中学校への支援

市立小中学校の調べ学習のための図書の貸出を行った。

令和5年度実績

調べ学習等に対する図書の貸出（学校図書館の資料で対応できない場合に1ヶ月貸出）

小学校17校 5,573冊 中学校8校 1,906冊 計 7,479冊

c 協力貸出

他市区町村等の図書館に多摩市の図書館資料を貸し出し、借用すること。

d 利用者数等

(a) 登録者数

単位＝人

年度	元	2	3	4	5
多摩市民	68,809	39,143	37,530	35,240	40,758
在勤在学他	1,609	586	566	528	945
日野市民	3,645	1,768	1,650	1,467	1,925
稲城市民	1,611	695	683	674	1,096
八王子市民	7,551	3,535	3,269	3,013	6,589
府中市民	1,305	625	606	588	688
調布市民	340	126	120	101	216
町田市民	2,089	738	683	572	1,616
合計	86,959	47,216	45,107	42,183	53,833
多摩市民の登録率	46.2%	26.4%	25.4%	23.8%	27.6%
多摩市民の登録者の利用率	40.8%	56.6%	64.8%	69.5%	71.5%

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度より、「個人利用者データメンテナンス」にて「利用者カードによる貸出及び予約が2年以上行われていない」利用者を「無効登録」したため、登録者数に大きな変化が生じた。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

(b) 館別個人貸出者数

単位＝人

年度	元	2	3	4	5
中央（本館）	128,777	105,146	131,027	142,654	232,994
東寺方	30,370	24,716	30,789	33,041	32,542
豊ヶ丘	55,635	46,062	56,043	61,847	66,595
関戸	128,434	98,102	128,075	146,754	157,985
聖ヶ丘	36,456	28,749	35,450	39,891	42,685
永山	186,318	141,410	182,466	201,630	207,287
唐木田	49,381	39,532	49,419	53,935	63,446
行政資料室	2,474	2,404	2,885	3,516	2,999
合計	617,845	486,121	616,154	683,268	806,533

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

(c) 館別個人貸出点数

単位＝点

年度	元	2	3	4	5
中央（本館）	358,508	292,178	356,287	338,039	477,873
東寺方	82,043	65,374	81,193	75,495	71,049
豊ヶ丘	140,963	115,147	139,500	134,161	136,057
関戸	293,490	215,623	276,828	290,668	297,862
聖ヶ丘	92,489	72,241	87,118	90,916	89,109
永山	439,716	327,483	405,346	409,774	400,726
唐木田	125,305	100,440	124,539	118,591	129,669
行政資料室	4,991	4,951	5,899	6,186	4,862
合計	1,537,505	1,193,437	1,476,710	1,463,830	1,607,207

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

(d) 対象別貸出点数

単位＝点

年度	個人貸出	団体貸出	協力貸出	合 計
元	1,537,505	26,912	7,677	1,572,094
2	1,193,437	20,892	6,660	1,220,989
3	1,476,710	19,837	7,502	1,504,049
4	1,463,830	20,236	7,306	1,491,372
5	1,607,207	18,704	5,453	1,631,364

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

(e) 団体貸出の内訳

単位＝上段団体数・下段貸出冊数

年度	市立 小中学校	読書会 読み 聞かせ	文庫活動 団体	幼稚園 保育園	市立 施設	民間施設	児童館 学童 クラブ	その他 学校	合 計
元	26 10,326	38 3,752	2 92	18 4,020	8 923	13 694	32 7,103	1 2	138 26,912
2	26 10,938	26 1,156	1 243	13 1,014	9 579	11 352	34 6,597	1 16	121 20,895
3	25 9,089	25 2,069	1 203	12 1,272	7 1,829	12 542	31 4,788	— 45*	113 19,837
4	25 9,046	24 2,450	1 86	13 1,734	9 599	13 1,191	29 5,052	2 78	116 20,236
5	25 7,479	24 2,604	1 121	15 2,067	10 1,069	16 1,255	27 3,886	2 223	120 18,704

*団体種別の振り分けが不明な団体への貸出冊数。

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

※令和5年度は、5月7日本館の閉館後中央図書館が7月1日開館するまでの間、団体貸出室の利用を停止した。

(イ) 資料の予約・リクエスト

図書館に資料がないときに、予約（市の図書館では所蔵しているが貸出中のため順番待ちの登録や他館から取り寄せること。）やリクエスト（図書館が所蔵していない資料に対して入手の希望をすること。新規購入や、都立図書館等の図書館から借用を行う。）により資料を提供している。

予約やリクエストにより用意ができた資料は、一定期間取り置きを行っている。

単位＝件

年度	元	2	3	4	5	
所蔵資料	397,283	352,086	420,599	406,076	420,276	
購 入	3,581	2,843	3,080	3,234	3,326	
借用	国会図書館	195	123	208	196	159
	都立図書館	3,922	3,276	3,611	3,322	3,595
	市・区立図書館	4,703	4,794	5,916	6,107	5,601
	その他	2,244	1,714	1,456	1,078	772
情報提供や紹介	117	74	65	71	57	
辞 退	18,469	16,374	20,288	19,899	20,486	
未 刊 行 等	250	13	176	163	258	
取 消	26,536	24,093	27,832	30,881	35,783	
そ の 他	1,431	1,321	1,138	1,190	831	
合 計	458,731	416,618	484,369	472,217	491,144	

※借用には、障がい者サービス分を含む。

※令和元年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年3月2日から9日まで全館臨時休館、3月10日からは、予約資料の貸出等一部サービスのみ実施。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、令和2年4月8日から5月24日まで全館臨時休館、5月23日から6月8日にかけて、返却、予約や貸出等の窓口サービスを段階的に再開した。

(ウ) 読書啓発活動

読書や図書に親しんでいただくことを目的として、各種の事業を実施している。

a 図書館報「やまばと通信」

図書館のサービス、本の紹介、主要事業の開催などの情報を掲載している。令和5年度は、7回発行した。

b 企画展示

図書館で所蔵している図書を紹介するため、季節や時事、話題になっていることをテーマとした展示を各図書館で実施している。

c 講座やイベント等の実施

読書や図書に親しんでもらえるような講座やイベント等を実施している。

(エ) 子ども読書支援サービス

市内のすべての子どもたちが図書館を利用し、すぐれた本と出会えるようにサービスを展開している。

a ブックスタート 多摩市絵本かたりかけ事業

絵本をとおして親子のコミュニケーションが深まることの大切さを伝えることを目的として、健康センターで月2回行われる3～4か月児健康診査の実施日に市民ボランティアと協働で、絵本、ブックリスト、図書館案内などを差し上げている。(令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民ボランティアの活動は休止して

いたが、令和5年11月より再開) 未受診者に対しては、市内各図書館、健康センター(訪問事業)において配付を行う。

令和5年度実績

対象者 634人 絵本配付数 634人 配付率 100%(24回実施)

b おはなし会の開催

- ・各図書館で図書館主催と市民ボランティア団体による「おはなし会」を毎月、企画・開催している。(各館でおはなし会だよりを発行)
- ・「ブックスタート 多摩市絵本かたりかけ事業」に関連して、乳幼児と保護者を対象に「赤ちゃんおはなし会」を開催している。

定例のおはなし会の実施状況(赤ちゃんおはなし会を含む)

区分	中央 (本館 含む)	東寺方	豊ヶ丘	関戸	聖ヶ丘	永山	唐木田	合計
回数	57回	26回	23回	47回	47回	70回	33回	303回
参加人数	884人	196人	333人	339人	484人	571人	351人	3,158人

赤ちゃんおはなし会の実施状況

区分	中央 (本館 含む)	東寺方	豊ヶ丘	関戸	聖ヶ丘	永山	唐木田	合計
回数	10回	4回	8回	11回	6回	27回	22回	88回
参加人数	96人	42人	92人	154人	116人	192人	203人	895人

c 図書館訪問

市内の小学校(2年生)に最寄りの図書館を訪問してもらい、およそ1時間のプログラムで図書館の見学、利用案内と読書案内を実施している。

d 布の絵本の購入・展示

障がいのある子もない子も楽しめる布の絵本を市民ボランティア団体に作製を依頼し購入。令和5年度から布の絵本や点字付き絵本、大活字本等を集めた「りんごの棚」を各館(行政資料室を除く)に設置し、貸し出しを行っている。

e ブックリスト等の発行及び改訂

各リストは、各図書館で希望者に配布している。また、ホームページにも掲載。

- ・『赤ちゃんから絵本を』(ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業で配付)
- ・『絵本はともだち』(ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業で配付)
- ・『絵本のきろく』(ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業で配付)
- ・『多摩市立図書館がおすすめする絵本のリスト』
- ・『よんでみよう!』1~6年生(市立小学校児童に学校を通じ配付)

- ・『多摩市立図書館ニュース』・『なつやすみに、これよんで!』1～3年生、保護者用
『多摩市立図書館ニュース』・『夏休みに、これ読んで!』4～6年生、保護者用
(市立小学校児童に学校を通じ配付)
- ・『多摩市立図書館ニュース』中学・高校生用(市立中学校生徒等に学校を通じ配付)

f こどもの読書週間のイベント

「こどもの読書週間」(令和5年4月23日～5月12日)では、テーマを設定して展示を行った。

テーマ:「ご紹介します!学校図書館の取り組み」

令和4年度に開催した「第14回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》」で展示した、市立小・中学校作成の展示物を、各校の学区の地域館において展示。

g 資料選択

資料の選択は、企画運営担当主査3を長とし図書館長が指名した職員による資料選定会議で行い、図書館長が決定する。児童書資料は、企画運営担当2と各図書館児童担当者が選書している。

h 第三次多摩市子どもの読書活動推進計画の推進

第二次多摩市子どもの読書活動推進計画に続く第三次多摩市子どもの読書活動推進計画を、平成30年3月に策定した。策定の翌年度(平成30年度)は、計画推進の体制づくりのため、第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡会等設置要綱を制定し各連絡会を開催するとともに、第三次計画に定める具体的な取組みの着実な推進のための「アクションプラン(平成30年度版)」を取りまとめた。

令和5年度は、各連絡会を開催するとともに(推進連絡会1回、小・中学校連絡会1回、市民ボランティア連絡会3回、庁内連絡会1回)、担当部署である図書館、関係課、市立小・中学校の各々は、アクションプラン(令和4年度)の振り返り・更新を行い(令和5年度版の作成)、これに基づく施策の推進に取り組んだ。

i 第15回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》

「子どもと本を結びつける日常の活動を多くの人に知ってもらう」ことを目的として、年度末に毎年開催している。令和5年度は、中央図書館の開館に合わせ、夏にもイベントを実施した。夏には、ワークショップを含む講座やおはなし会、年度末には、グリナード永山と中央図書館で展示(学校図書館、児童、生徒の読書に関わる作品、図書館おはなし会ボランティア団体の活動、多摩市立中央図書館、ビブリオバトル、図書館事業等の紹介パネルなど)、中央図書館で講演会(わらべうた)、各館をめぐるスタンプラリー、特別おはなし会を行った。

展示

- ・グリナード永山(2階どんぐり広場、3階エスカレーター横特設会場)

令和6年3月1日(金)午前10時～3月4日(月)午後6時

- ・中央図書館(2階全体及び1階ステッププラザ・小説書架付近)

令和6年3月11日(月)午前9時30分～3月31日(日)午後8時

講座及びワークショップ

① 「そうだったのか！？ 天気予報」

実施日：令和5年7月1日(土)午後3時30分～5時30分

場所：多摩市立中央図書館 活動室1 & 中央公園

講師：平井 信行氏（気象予報士・防災士）

参加人数：44名

② ～言葉の魔術師、言葉遊びの達人と一緒に～「ことばで遊ぶ、ことばを愉しむ」

実施日：令和5年7月2日(日)午後2時～4時

場所：多摩市立中央図書館 活動室1

講師：石津 ちひろ氏（絵本作家・詩人・翻訳家）

参加人数：37名

スペシャルおはなし会

実施期間：令和5年8月5日(土)～令和5年8月7日(月)

実施回数：全8回

参加人数：延べ190名（うち子ども102名）

スタンプラリー（健幸まちづくり推進室と協働で企画、実施）

実施期間：令和6年3月1日（金）～3月31日（日）

対象：どなたでも（主な参加者としては、幼児～小学校低学年とその保護者等を想定）

設置場所：図書館各館カウンター（行政資料室を除く）

景品：絵柄のシール（各館ごと）、全館制覇シール（1種類）

配布枚数：934枚・全館制覇51枚

j 子どもの読書に関する主催講座

① 「絵本の森」

実施日：令和5年11月8日（水）

場所：唐木田児童館 集会室

講師：図書館職員

参加人数：6組（14名）

② 「子どもと楽しむ わらべうた」

実施日：令和6年3月30日（土）午後2時～4時

場所：中央図書館 活動室1

講師：濱口 敦子氏（全国わらべうたの会）

参加人数：33名

k 学校・他機関・市民等との連携

- ・学校図書館司書の研修会への参加
- ・都立多摩桜の丘学園の総合学習の受入れ
- ・児童館の0歳児、幼児の時間、市立保育園でのおはなし会等の開催
- ・多摩市文庫連絡協議会主催の「文庫展」の開催への協力

- ・情報誌「わくわく通信」への子育て情報提供
- ・多摩中央公園と連携したおはなし会などのイベントの実施
- ・丸善多摩センター店と連携したおはなし会やテーマ展示の実施
- ・無印良品ココリア多摩センター店と連携したSDGsに関連したおはなし会の実施
- ・都立桜ヶ丘公園主催事業での読み聞かせの実施

1 大学との提携

- ・ビブリオバトルの開催

対面でのビブリオバトルを大妻女子大学図書館サークルOLIVEとの共催で中高生の部と大学生から一般の部の2部構成で実施した。また子ども読書まつり《ほんともフェスタ》の会場でもビブリオバトルを紹介する展示、冊子の配布を実施した。

実施日：令和5年12月17日（日）

中高生の部：午前10時30分～正午

大学生～一般の部：午後1時30分～3時

場所：中央図書館2階サテライトカウンター前

参加人数：45名

(オ) 10代の子どもへのサービス

- ・大人の読書への橋渡しとして、10代の子ども向けの資料の充実を図っている。
- ・企画展示や利用者自身によるお薦め本の展示等を行ない、利用を促進している。
- ・各図書館にティーンズコーナーを設置し、本に囲まれた気持ちの良い居場所となるようにしている。
- ・中央図書館の2階は、おしゃべり可能なエリアとしており、自由に集えるようテーブルや椅子を配置している。「朝日中高生新聞」の閲覧を継続している。

a 職場体験の受け入れ

次の目的が達成できるよう、中学生（特別支援学級含む）の職場体験を受け入れている。

- ・地域の人との「出会い・ふれあい」を大切にし、思いやりの心を養う。
- ・実際に働き、仕事について学び、マナーや礼儀作法などの社会性を身につける。
- ・職場での体験を通して多くのことを感じ、新しい自己発見・自己理解をする機会とする。

(カ) 障がい者サービス

何らかの障がいのため図書館利用が困難な人の読書要求に応じている。令和4年度まで永山図書館で行ってきた障がい者サービスの拠点機能を、令和5年7月以降は、中央図書館に移管した。

a 録音図書・録音雑誌（テープ・デージー）の作製・提供

音訳者の方々の協力を得て作製した自館作製録音図書が3タイトル、録音雑誌が2誌19タイトル完成した。録音雑誌の「声のやまばと通信」は、PRの手段として作製し

利用者へ隔月で送付している。内容は、図書館報「やまぼと通信」、障がい者サービスからのおしらせ、録音・点訳図書の新作内容や新しく出版された図書の情報などである。国立国会図書館の視覚障がい者等用データベースに、多摩市立図書館で作製したデージー図書、デージー雑誌のデータ提供を平成26年9月から、点字図書のデータ提供を平成28年2月から開始し、ダウンロードやストリーミングにて利用されている。

令和5年度実績

・録音図書(テープ・デージー)

貸出件数	153件
借用貸出件数(日本ライトハウス、他図書館から)	793件
国会図書館データベースダウンロード件数	1,686件
国会図書館データベースデータ提供数	153件

・録音雑誌(テープ・デージー)

貸出件数	470件
借用貸出件数(日本点字図書館、他図書館から)	92件
国会図書館データベースダウンロード件数	625件
国会図書館データベースデータ提供数	115件

b 対面朗読

利用者の希望する図書等を直接、対面式で音訳者が読むサービス。

対面朗読室のある永山図書館などで開館時間内、図書館以外の公共施設ではその施設の利用時間内で実施している。

令和5年度実績

実施回数	9回
実施時間数	18時間

c 点字図書の作製・貸出

平成9年度から始めたサービスで、録音図書の作製と同様に利用者のリクエスト等によって作製し貸出をする。今年度は、点字資料を2タイトル作製した。

令和5年度実績

貸出件数	2件
借用貸出件数(東京都立中央図書館から)	0件
国会図書館データベースダウンロード件数	45件※
国会図書館データベースデータ提供数	47件

※国会図書館データベースダウンロード件数は、令和5年1月から国立国会図書館の提供方法が変更されたため、件数が大幅に減少している。

d 宅配サービス

図書館に来館することが困難な利用者が希望する図書・雑誌・録音図書などを自宅や入所施設まで届けている。利用者への宅配と返却本の回収は、おもにボランティアの方をお願いしている。

令和5年度実績 宅配回数 26回

e 視覚等障がい者用情報機器

中央図書館に文字等を合成音声で読み上げる機器や、点字ディスプレイ、点字プリンタ、デージー再生機などの情報機器を設置し、利用者・音訳者・点訳者の使用に供している。据置型の拡大読書器は、令和元年度より中央図書館、永山図書館、関戸図書館に設置している。

f 音訳者等研修会

録音図書や点字図書の作製や対面朗読に関わる音訳者、点訳者の育成講習会や音訳技術の向上を目的とする研修会を開催している。

テーマ：①「デージー資料作成の実際」
②「正確な音訳のための「地名の調査法」の実際」

講師：①木村 光恵氏／②成毛 由紀子氏

実施日：①令和6年3月 6日（水）午後1時00分～4時00分
②令和6年3月14日（木）午後1時00分～4時00分

会場：多摩市立中央図書館 活動室1

参加者：①31人／②35人

(キ) 電子図書館サービス

電子図書館サービスはパソコンやタブレット、スマートフォン等から、多摩市立図書館の電子書籍（小説や実用書、子ども向けの絵本やよみもの、オーディオブックなど）の閲覧・貸出、予約ができ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の中、非来館型の情報提供サービスとして、令和3年1月25日からサービスを開始した。電子図書館を利用できる方は、多摩市立図書館の利用者登録をしている在住・在勤・在学のパスワード登録者。令和5年4月からは電子雑誌閲覧サービス及び音楽配信データベースの閲覧サービスを開始した。

また多摩市や図書館が作成した広報紙等を多摩市独自資料として電子書籍化し掲載している。

利用状況

年度	電子書籍コンテンツ数	ログイン数	閲覧数	貸出数	予約数
2	4,074タイトル	11,409回	12,195回	4,763回	1,101回
3	6,943タイトル	30,528回	35,880回	12,471回	1,510回
4	6,270タイトル	24,538回	33,712回	11,626回	1,240回
5	5,767タイトル	28,527回	41,630回	12,394回	1,812回

(ク) 地域資料・貴重資料等のデジタルアーカイブ事業(令和2・3年度の2か年事業)

デジタルアーカイブは、図書、出版物、博物品、歴史的資料等公共的な知的財産をデジタル化し、インターネット上で電子情報として共有・利用できる仕組みである。

資料の経年劣化等の理由により一般公開していない図書館所蔵の貴重資料と『多摩市史』等多摩市に関する記録(地域資料)をデジタル化し、「多摩市デジタルアーカイブ」を構築した。

令和2年度の主な公開資料は以下の通り

- ・『多摩市史(通史編、通史編Ⅱ、民俗編)』
- ・市指定有形文化財『調布玉川惣画図』
- ・市内和田・百草遺跡、向ノ岡遺跡の発掘調査で出土した縄文土器5点
- ・市指定有形文化財『関戸文書』や地図、錦絵、和装本など 105点

令和3年度は、市制施行50周年記念事業の一環として、「多摩市内パノラマ映像」「小・中学校社会科副読本」「多摩の民話『おしゃもじさま』」他3点、「多摩の郷土写真」『多摩市市制施行50周年記念誌』を新たに公開した。

小中学校学習用コンテンツでは、「小・中学校社会科副読本」の他に『多摩市史』、『調布玉川惣画図』、『縄文土器』など、子どもたちの学習、多摩地域の歴史研究に役立つデジタルコンテンツをまとめて掲載し、授業、家庭学習、調べ学習などで活用できるようにした。

多摩市内パノラマ映像では、市内3か所(多摩市役所、多摩市立図書館本館、東永山複合施設)の上空から空撮したパノラマから、小・中学校の写真や校歌の紹介、市指定文化財や多摩市の特色である緑豊かな公園、数多く設置されている橋梁、ニュータウン開発区域の住宅地を紹介した。

又、昭和初期に建設された歴史的価値のある市指定有形文化財「旧多摩聖蹟記念館」、江戸時代の建物と推定される多摩市の典型的な農家住宅「旧加藤家」等を立体映像で紹介した。

多摩市デジタルアーカイブの構築にあたっては、公益財団法人図書館振興財団の助成金を活用した。

令和4年度は、中学校社会科副読本「のびゆく多摩市」の改訂版を公開した。

令和5年度は、3・4年社会科副読本「わたしたちの多摩市」の改訂版を公開した。

(ク) 京王線沿線七市の図書館連携事業

平成20年4月1日から、京王線沿線七市連携事業として、八王子、府中、調布、町田、日野、稲城、多摩市の図書館で相互利用を開始した。それまで、日野市、稲城市と相互利用の協定を結んでいたが、その範囲が七市に拡大された。サービスの内容や利用方法は各市で定める条例、規則等に基づいて実施され、予約などのサービスについては一部制限があるが、多摩市民は京王線沿線七市の図書館を利用できる。

カ 中央図書館整備の状況

(ク) 平成28年度：図書館本館再構築基本構想の策定

学校校舎を暫定活用している現在の本館の恒久整備に向けた第一段階として、平成28年6月から、本館・分館のあり方を含めた全市図書館システムの再構築と、全市の図書館サービスの充実を支えつつ、高度専門的な情報や多様な活動の場を提供する中央図書館について検討し、これらを平成29年3月に「基本構想」としてまとめた。検討にあたっては、基本構想策定委員会を設置し、策定委員会の審議とあわせて市民団体のヒアリングやパブリックコメントを実施するなどし、教育委員会で決定した。この基本構想を、中央図書館の整備に向けて、今後策定を予定する諸計画の基本的方針とする。

(キ) 平成29～30年度：図書館本館再整備基本計画の策定

基本構想で示された将来像、検討課題を踏まえ、新本館の運営やサービス、資料、機能に応じた必要な施設の概要、整備費用の概算などについて、平成30年2月から検討し、これらを平成30年8月に「基本計画」としてまとめた。

検討にあたっては、基本計画検討委員会を設置し、検討委員会の審議（全8回）とあわせて市民団体のヒアリングや市民フォーラム、パブリックコメントを実施するなどし、教育委員会で決定した。

(ク) 令和元年度：図書館本館再整備基本設計の完了

基本設計は、建築技術面の検討として、平成31年2月から検討を開始し、基本計画で示された方針と整合させながら、ワークショップや市民説明会の市民意見も参考にして、令和元年7月にまとめた。同年8月からは、基本設計を基に、今後の中央図書館建設工事に向けて、さらに内容の具体化・詳細化、発注図書の作成等をするプロセスである実施設計に取り組んだ。

(ケ) 令和2年度：図書館本館再整備実施設計の完了と中央図書館建設工事等の契約締結

中央図書館整備に向けて、昨年度から取り組んできた実施設計は、令和2年5月に完了した。実施設計を基に中央図書館建設工事と付帯工事3件（計4件）の入札手続きを行った。一旦は入札不調となったが、再入札と契約議決を経て、令和3年3月15日に契約締結した。入札不調に伴い、開館予定を令和4年11月から令和5年5月に変更した。

(コ) 令和3年度：中央図書館建設工事の開始

中央図書館の建設工事は、令和3年4月10日に市民参画による「樹木伐採起工式」を実施して以降、本格的に着工した。本起工式は、建設工事のスタートであるとともに、中央図書館の整備により伐採した多摩中央公園の樹木の有効活用事業（中央公園のみどりの記憶をつなぐプロジェクト）にも位置付けている。伐採木を活用したイベントとして、令和3年7月31日・8月1日には小学生以下を対象に木工体験講座「つくってあそぼう！木のおもちゃづくり」、令和4年1月15日・1月29日・2月13日には全3回連続講座「炭やき体験講座」を開催した。

建設工事では、主に伐採工事・掘削工事・基礎工事を進めた。掘削工事の土砂処分及び既設埋設物の対応に遅れが生じたため、工期の延長が必要になった。これにより、竣工を令和4年12月28日から令和5年3月15日に、開館予定を令和5年5月から同年7月に変更した。

(カ) 令和4年度：中央図書館建設工事の完了

令和3年度に引き続き、建設工事を進めた。4年度は主に6月から内装工事、10月から屋根工事及び外装工事、11月から外構工事を行った。令和5年2月末に概成し、諸官庁の検査を経て、3月中旬に竣工、下旬に引き渡しを受けた。

また、開館を見据えて中央図書館の管理運営のあり方をまとめる「多摩市立中央図書館管理運営方針」についても検討した。令和4年5月から検討を開始し、教育委員会や図書館協議会等への協議、市民団体へのヒアリング、市民説明会、パブリックコメントなどを通じて段階的に検討を深め、同年11月に方針を決定した。同方針の決定を受けて、12月議会では図書館の名称や位置等を定める図書館条例を改正するとともに、令和5年1月から3月にかけて図書館関係例規を改正した。

「中央公園のみどりの記憶をつなぐプロジェクト」についても、引き続き取り組み、令和4年7月30日・31日に夏休みの小学生を対象とした「木工ワークショップ（ミニ本棚づくり）」を実施した（参加者：21名）。令和5年3月4日には「中央図書館植樹&中央公園樹木観察ワークショップ」も実施し、公募市民とともに建設工事中の中央図書館の敷地にモクレン・サクラ・ナツツバキ・サルスベリ・モミジの5本の木を植樹した（参加者：25名）。3月下旬には令和3年5月に敷地から伐採したクスノキで制作したテーブル・ベンチ計5台が完成し、中央図書館に納品・設置した。

中央図書館に設置する各種初度備品の納品や本館にある蔵書等の移転については令和4年度中に契約を締結し、年度をまたいで着実に納品・移転されるように準備を整えた。

(キ) 令和5年度：旧本館の閉館、中央図書館開館

前年度3月の竣工・引き渡し後、令和5年7月1日の開館に向けて、開館準備を行った。

4月から家具備品の納入と設置を開始し、5月7日の図書館本館閉館後は、本館から約40万点の蔵書を含む大規模な移転作業を行った。6月から多摩センター駅周辺に開館PRのための街路灯フラッグの掲出や駅前階段の装飾、著名人による講演会など開館記念イベントを行った。その他、図書館システムの移転やICタグ関連機器の設置、駐輪場の整備、音声誘導装置の設置工事等の開館準備に取り組んだ。

7月1日に開館式典開催後の午前11時に開館した。開館記念講演や展示などの他、市民からアイデア募集を行った市民協働イベントを7月から8月にかけて実施した。



Ⅱ 施設利用実績

1 学校開放

施設		年度				
		元	2	3	4	5
体育館	件数	6,702	770	3,799	6,470	7,021
	人数	124,534	11,648	60,015	104,130	119,827
校庭	件数	2,205	1,409	2,232	2,533	2,580
	人数	96,054	83,605	84,886	92,213	100,984
教室	件数	2,023	112	340	1,065	1,185
	人数	44,052	1,404	5,732	16,927	23,523
テニスコート	件数	579	341	531	610	736
	人数	7,028	3,774	5,895	7,121	8,101
夜間照明設備付 校庭	件数	425	263	381	431	478
	人数	15,851	9,253	11,565	14,092	14,541
陶芸窯	件数	54	8	18	48	43
	人数	290	36	84	207	184
クラブハウス	件数	4,958	1,558	3,292	4,505	4,689
	人数	58,378	13,665	29,400	41,075	44,140
合計	件数	16,954	4,461	10,593	15,662	16,732
	人数	346,694	123,385	197,577	275,765	311,300

2 多摩ふるさと資料館

総見学者数 [※令和3年度まで文化財資料室、()内は多摩第三小学校見学者数]

年 度	元	2	3	4	5
見学者数	872人(320人)	97人(57人)	107人(53人)	5,106人	5,480人

3 旧多摩聖蹟記念館

開館日数・来館者数・ギャラリー使用件数

年 度	開館日数	来館者数	ギャラリー使用件数
元	223日	32,354人	0件
2	192日	21,423人	0件
3	228日	12,598人	0件
4	186日	8,232人	1件
5	239日	9,489人	0件

※令和4年度は内部塗装工事のため、令和4年12月1日～令和5年2月28日は臨時休館とし、ギャラリー使用も中止。

4 古民家

開館日数・来館者数

施設名称 年度	旧有山家・旧加藤家		旧富澤家	
	開館日数	来館者数	開館日数	来館者数
元	291日	10,987人	266日	25,238人
2	254日	10,234人	233日	21,812人
3	297日	11,588人	273日	24,790人
4	308日	9,408人	284日	26,611人
5	309日	8,993人	96日	8,113人

※旧富澤家は多摩中央公園改修工事に伴い、令和5年8月から令和7年3月まで休館

5 永山公民館

開館日数		休館日数
平日	220	
土 日・休	50 67	

施設	使用可能件数	一般	市役所関係	主催	計	使用率	使用人数
ベルブホール	1,011	342	108	119	569	56.3%	24,469
第1音楽室	1,011	835	22	13	870	86.1%	9,525
第2音楽室	1,011	677	2	10	689	68.2%	2,027
集会室	1,011	805	13	47	865	85.6%	13,220
学習室	1,011	785	5	18	808	79.9%	5,862
視聴覚室	1,011	614	50	59	723	71.5%	9,024
創作室	1,011	639	1	24	664	65.7%	4,714
和室	1,011	812	15	19	846	83.7%	4,826
第1保育室	1,011	39	2	120	161	15.9%	1,975
第2保育室	1,011	61	13	82	156	15.4%	1,495
ギャラリー	1,011	433	113	180	726	71.8%	-
計	11,121	6,042	344	691	7,077	63.6%	77,137
前年度	11,121	6,040	344	708	7,092	63.8%	74,001

※使用件数は、午前/午後/夜間の施設予約・利用枠単位での計上

6 関戸公民館

開館日数		休館日数
平日	222	
土 日・休	52 65	

施設	使用可能件数	一般	市役所関係	主催	計	使用率	使用人数
ヴァイタホール	1,017	314	74	131	519	51.0%	28,876
大会議室仕様	428	162	160	106	428	100.0%	5,367
第1学習室	741	302	6	6	314	42.4%	3,172
第2学習室	741	224	23	13	260	35.1%	2,709
第3学習室	1,017	636	56	18	710	69.8%	6,731
和室 1	1,017	477	19	27	523	51.4%	3,497
和室 2	1,017	404	14	27	445	43.8%	1,800
茶室	1,017	222	6	17	245	24.1%	1,587
創作室	1,017	541	14	71	626	61.6%	5,137
スタジオ	1,017	776	1	13	790	77.7%	6,431
保育室	1,017	29	17	59	105	10.3%	587
ギャラリー	1,017	234	114	150	498	49.0%	-
計	11,063	4,321	504	638	5,463	49.4%	65,894
前年度	10,209	3,774	526	419	4,719	46.2%	57,456

※使用件数は、午前/午後/夜間の施設予約・利用枠単位での計上

7 図書館

施設利用実績（令和5年7月1日～令和6年3月31日）

単位：件

施設名		図書館主催事業	公用使用	市民団体	合計
中央図書館	活動室1	101	40	14	155
	活動室2	35	3	14	52
	活動室3	42	2	15	59
	活動室2+3	73	7	4	84
関戸図書館活動室 ※		65	0	11	76

利用件数は、午前/午後/夜間の施設予約・利用枠単位での計上

※中央図書館の開館に伴い、7月1日から市民団体への活動室の貸出を開始

8 ハヶ岳少年自然の家

ア 宿泊者数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

単位：人

区分	未就学児童	小学生	中学生	高校生	大人	合計
市内	63	3,849	1,878	23	847	6,660
市外	251	1,501	85	103	1,568	3,508
合計	314	5,350	1,963	126	2,415	10,168

イ 利用団体数と延利用者数（令和5年4月1日～令和6年3月31日）単位：団体・人

区分	小中学校	少年団体	一般団体	その他	視察等	合計
団体数	43	29	229	7	17	325
延利用者数	9,067	3,390	4,044	702	94	17,297

※延利用者数の日帰り利用は「1」、1泊2日は「2」、2泊3日は「3」として集計

刊行物一覧

名 称	発行時期	発行部数	規 格	頁数	配 付 先	担 当 課
多摩市の教育(令和5年度版) 〔5年度データ及び4年度実績〕	R5年9月	35	A4	168	関係機関	教育振興課
多摩市教育委員会だより	年6回					教育振興課
第86号	R5年5月	15,400	A4	4	各小・中学校、 関係機関	
第87号	7月	15,400	A4	4		
特別号 (たま広報10月5日号1・2面として掲載)	10月	79,710	タブロイド判	1	全戸配布	
第88号	11月	15,400	A4	6	各小・中学校、 関係機関	
第89号	R6年1月	15,400	A4	4		
第90号	3月	15,400	A4	6		
令和5年度多摩市教育委員会事務 点検評価報告書(令和4年度事務対 象)	R5年11月	60	A4	66	関係機関	教育振興課
第二次多摩市教育振興プラン 別冊 令和6年度の取り組み	R6年3月	64	A4	28	関係機関	教育振興課
多摩市立学校児童・生徒並びに教職 員の各種健康診断実施要領 (多摩市学校保健計画)(令和6年 度)	R6年3月	186	A4	162	各小・中学校、関 係機関	学校支援課
小学校社会科副読本 「わたしたちの多摩市」	R6年3月	多摩市デジタルア ーカイブで公開	A4	147	公立小学校、他	教育指導課
小学校1年生副読本 「多摩市かがやきブック」	R6年3月	1,500	A4	20	公立小学校	教育センター
多摩市立教育センター活動報告書 (令和4年度)	R5年9月	200	A4	50	関係機関	教育センター
献立表/給食だより	毎月(8月 を除く)	月10,250	A4	2	各小・中学校	学校給食セン ター
きゅうしょくメモカレンダー	毎月(8月 を除く)	月300	B4	2	各小学校 (クラス数)	学校給食セン ター

名 称	発行時期	発行部数	規 格	頁数	配 付 先	担 当 課
旧多摩聖蹟記念館広報「雑木林」	年 6 回	各 1,100	A4	6 又 は 8	各小・中学校、関係機関、関係者、市民等	教育振興課
旧多摩聖蹟記念館春季企画展「多摩聖蹟記念館と建築家・蔵田周忠」図録	R6 年 3 月	200	A4	70	関係者、関係機関、市民等(販売)	教育振興課
公民館通信「たのしいまち」	年 6 回	各 2,000	A4	6	関係機関、団体、市民	公 民 館
やまばと通信	年 6 回	各 1,000 ※258号の み 1,500	A3 二つ折り	4	市民、関係機関	図 書 館
やまばと通信特別号	R5 年 6 月	2,000	A3 二つ折り	4	市民、関係機関	図 書 館
多摩市の図書館 ～令和 4 年度事業報告～	R5 年 8 月	350	A4	100	関係機関	図 書 館
よんでみよう！ 1 年生～6 年生	年 1 回	1、3～6 年 各 2,000 2 年 2,300	1～5 年 B4 三つ折り 6 年 A4 三つ折り		各小学校、市民	図 書 館
多摩市立図書館ニュース・夏休みに、これ読んで！ 1～3 年生、4～6 年生（保護者）	年 1 回	全 4 種類 各 4,400	A4	2	各小学校、市民	図 書 館
多摩市立図書館ニュース 中学・高校生向け	年 1 回	4,300	A3 二つ折り	4	各中学校、市内都立高校、特別支援学校、市民	図 書 館

各種委員

※掲載基準日は、令和5年度末（令和6年3月31日）

※敬称略

<多摩市立学校給食センター運営委員会委員>

氏名	選任区分	氏名	選任区分
◎向井美紀	市立小中学校長代表	金野成哲	市立小中学校給食主任代表
佐藤信雄	〃	伊藤美桜	〃
島雄志織	市立小中学校保護者代表	横井朱里	公募市民
○小林壮右	〃	前田有美	〃
寺村涉	所轄保健所長が指名した者	欠員	〃
土岐田佳子	学識経験者	小野澤史	関係行政機関の職員
丸橋亮子	〃		
井上雅美	〃		

◎は会長、○は副会長

<多摩市立教育センター運営委員会委員>

氏名	選任区分	氏名	選任区分
○稲垣綾子	学識経験者	齊藤康人	多摩市公立小学校副校長会代表
◎高藤浩	多摩市公立小学校校長会代表	矢野尚子	多摩市公立中学校副校長会代表
齊木伸郎	多摩市公立中学校校長会代表	野口恵美	多摩市立小学校PTA連絡協議会代表
齋藤幸之介	多摩市立特別支援学級設置学校長代表	和田正代	多摩市立中学校PTA連合会代表

◎は会長、○は副会長

<多摩市特別支援教育推進委員会>

氏名	選任区分
◎小貫悟	学識経験者
○則末久美子	多摩市立小学校長
○佐藤信雄	多摩市立中学校長
山本勝敏	教育部参事 教育指導課長事務取扱
麻生孝之	教育部 学校支援課長
相良裕美	教育部 教育センター長

◎は委員長、○は副委員長

〈多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員〉

氏名	選任区分	氏名	選任区分
相楽敏栄	学校教育関係者	○長島剛	学識経験者
堀井義昭	社会教育関係者	西山規子	公民館利用者代表
布施栄子	〃	倉品みゆき	公募市民
細田雅美	家庭教育関係者	秋澤友香里	図書館協議会代表
◎炭谷晃男	学識経験者	横倉敏郎	文化財保護審議会代表

◎は会長、○は副会長

〈多摩市文化財保護審議会委員〉

氏名	専門分野	氏名	専門分野
青木敬	考古学	桜井昭男	近世・近代史
内野秀重	自然史・植物	◎浜田弘明	人文地理
江里口友子	日本美術史・東洋美術史	横倉敏郎	地域史
加藤幸治	民俗学・民具学	○渡辺洋子	建築
鎌倉佐保	中世史		

◎は会長、○は副会長

〈多摩市図書館協議会委員〉

氏名	選任区分	氏名	選任区分
岩崎紀美子	学校教育関係者	◎前田洋一	学識経験者
高橋祥子	社会教育関係者	大島真理子	図書館利用者
岡田みゆき	家庭教育関係者	秋澤友香里	図書館利用者
○深水浩司	学識経験者		

◎は会長、○は副会長

